



FR6000 シリーズ・モバイル・コンピュータ ユーザガイド



FR6000 シリーズ・モバイル・コンピュータ
ユーザガイド

72E-119052-01

改訂 B

2009 年 7 月

© 2009 by Motorola, Inc. All rights reserved.

本書のいかなる部分もモトローラの書面による許可なしに、どのような形式または電子的、機械的手段であっても複製または使用することを禁じます。こうした規則にはコピー印刷、記録、情報の保存、検索システムといった電子的または機械的手段を含みます。本マニュアルの資料は予告なしに変更されることがあります。

ソフトウェアは厳密に「現状のまま」で提供されます。ファームウェアを含む全ソフトウェアはライセンスに基づいてユーザに提供されます。モトローラは本契約書(ライセンス・プログラム)に基づいて、各ソフトウェアまたはファームウェア・プログラムを使用するための譲渡不可の非独占的ライセンスをユーザに付与します。下記の場合を除いて、モトローラの書面による事前の同意がなければ、ユーザはかかるライセンスを譲渡、サブライセンスの付与または移譲を行うことはできません。著作権法により許可されている場合を除いて、ライセンス・プログラムの全部または 1 部をコピーする権限はありません。ユーザはライセンス・プログラムを何らかの形式で、またはライセンス・プログラムの何らかの部分を変更、結合、または他のプログラムへ組み込むこと、ライセンス・プログラムからの派生物を作成すること、ライセンス・プログラムをモトローラの書面による許可なしにネットワークで使用することを禁じられています。ユーザは本契約に基づいて提供されるライセンス・プログラムについて、モトローラの著作権に関する記載を保持し、承認を受けて作成する全体または一部のコピーにこれを含めることに同意します。ユーザは提供されるライセンス・プログラムまたはそのいかなる部分についても、逆コンパイル、逆アセンブル、デコードまたはリバース・エンジニアリングを行わないことに同意します。

モトローラは信頼性、機能またはデザインを向上させる目的でソフトウェアまたは製品に変更を加えることができるものとします。

モトローラは本製品の使用または本文書内に記載されている製品、回路、アプリケーションの使用が直接的または間接的な原因として発生する、いかなる製造責任も負わないものとします。

明示的、黙示的、禁反言またはモトローラの知的所有権上のいかなる方法によるかを問わず、ライセンスが付与されることは一切ないものとします。モトローラ製品に組み込まれている機器、回路およびサブシステムについてのみ、黙示的にライセンスが付与されるものとします。

MOTOROLA、Stylized M ロゴ、Symbol および Symbol ロゴは、米国特許商標局に登録されています。Bluetooth は Bluetooth SIG の登録商標です。Microsoft、Windows および ActiveSync は Microsoft 社の登録商標または商標です。その他すべての製品名またはサービス名は、該当する各所有者が権利を有しています。

Motorola, Inc.
One Motorola Plaza
Holtsville, New York 11742-1300
<http://www.motorola.com>

特許情報

この製品は、以下のウェブサイトToListされている 1 つ以上の特許の対象となっています。
<http://www.motorola.com/enterprisemobility/patents>

改訂履歴

改訂履歴は以下の通りです。

変更	日付	説明
01 改訂 B	2009/07/02	初版

目次

本ガイドについて	9
はじめに	9
マニュアル式	9
構成	10
ソフトウェアのバージョン	10
フオンソフトウェア	10
各セクションの説明	11
表記法	11
関連文書	12
サービス情報	12
第 1 章 起動する	13
はじめに	13
開梱する	14
アクセサリ	14
起動する	16
メイン・バッテリーを取り付ける	16
バッテリーを取り外す	17
バッテリーを充電する	17
メイン・バッテリーとメモリバックアップ・バッテリーを充電する	17
スペア・バッテリーの充電	18
充電温度	18
FR6000 に電源を入れる	18
画面のキャリブレーション設定をする	19
バッテリーのステータスをチェックする	19
CF カードの取り付け	19
マイクロ・セキュア・デジタル(microSD)カード	19
ハンドストラップを調節する	21
画面プロテクタを取り外す	21
メイン・バッテリーを交換する	22
バッテリーの管理	22

電源の設定を変更する.....	22
バックライトの設定を変更する	23
無線をオフにする.....	23
第 2 章 FR6000 を使用する	25
はじめに.....	25
今日の画面	25
ステータス・アイコン	26
プログラム.....	28
設定	30
ボリュームを調節する	32
バッテリー・ステータスの表示.....	33
電源の設定	34
メイン・バッテリーの温度通知.....	35
LED インジケータ	35
FR6000 をリセットする.....	36
コールド・ブートを実行する	36
FR6000 をウェイクアップする.....	36
FR6000 をロックする	37
数値キーパッド の設定	38
機能ボタン	41
機能ボタン	41
スタイラス	41
データを入力する	42
データの取り込み	42
スキャニング	42
スキャニングで考慮すべき事項.....	42
IrDa (赤外線) を使用する.....	44
赤外線接続.....	44
IR 接続でファイルを交換する	44
第 3 章 ブルートゥースを使用する	47
はじめに.....	47
適応型周波数ホッピング.....	47
セキュリティ	48
ブルートゥース機能のオン/オフを切り換える	48
ブルートゥースを無効にする	49
ブルートゥースを有効にする	49
新規デバイスの接続.....	49
ファイル転送サービス	51
ブルートゥースの設定	51
デバイス情報タブ.....	51
モード・タブ	52
COM ポート・タブ.....	52
第 4 章 ActiveSync.....	55
はじめに.....	55
ActiveSync をインストールする.....	55
モバイル・コンピュータの設定.....	55
ホスト・コンピュータに ActiveSync を接続する.....	56
Windows Mobile 6 デバイスとの同期化	57

第 5 章 アクセサリ	61
はじめに	61
シングル・スロット USB/シリアル・クレードル	61
FR6000 のバッテリーを充電する	62
スペア・バッテリーを充電する	62
バッテリーの充電インジケータ	62
充電温度	63
4 スロット・バッテリー充電器	64
FR6000 バッテリーアダプタ の取り付け	64
スペア・バッテリーの充電	64
バッテリーの充電インジケータ	65
充電温度	65
ヘッドセット	66
ケーブル	66
LED の充電表示	67
充電温度	67
第 6 章 メンテナンスとトラブルシューティング	69
はじめに	69
FR6000 のメンテナンス	69
バッテリーの安全ガイドライン	70
クリーニング	71
必要な 器具	71
FR6000 シリーズをクリーニングする	71
筐体	71
ディスプレイ	71
スキャナウインドウ	71
コネクタ	71
クレードル・コネクタをクリーニングする	72
クリーニング頻度	72
FR6000 のトラブルシューティング	73
Bluetooth の接続	75
シングル・スロット USB/シリアル・クレードル	76
4 スロット・バッテリー充電器	77
ケーブル	78
別表 A 技術仕様	79
FR6000 シリーズの技術仕様	79
FR6000 シリーズのアクセサリ仕様	81
シングル・スロット USB/シリアル・クレードル	81
4 スロット・バッテリー充電器	82
用語集	83
索引	87

本ガイドについて

はじめに

本ガイドは FR6000 ハンディー ターミナルおよびアクセサリの使用方法について説明します。

✓注 このガイドの画面とウインドウの画像はサンプルで、実際の画面とは異なります。

マニュアル一式

この FR6000 のマニュアル一式には、以下を含む情報が記載されています。

- **FR6000 シリーズ・クイックスタート・ガイド** - FR6000 を起動し実行する方法について説明します。
- **FR6000 シリーズ・ユーザ・ガイド** - FR6000 シリーズの使用方法について説明します。

構成

このガイドは以下に示す構成について説明します。

構成	無線	ディスプレイ	メモリ:	データキャプチャ	オペレーティングシステム	キーパッド
FR6070	WLAN: 802.11b/g WPAN: ブルートゥース	2.8" QVGA カラー	128 MB RAM/ 256 MB フラッシュ	1D レーザー・ス キャナー	Windows Mobile 6.1 クラシック	数値 キーパッド

ソフトウェアのバージョン

このガイドは様々なソフトウェアの構成について説明します。対象となるのは以下のオペレーティングシステム またはソフトウェアのバージョンです。

- アダプテーション・キット・アップデート(AKU)バージョン
- フォーンバージョン

AKU バージョン

アダプテーション・キット・アップデート(AKU)バージョンを指定するには以下を実行します。

スタート > 設定 > システムタブ > バージョン情報アイコン > バージョンタブの順にタップします。

2 行目にはオペレーティングシステムのバージョンとビルド番号が記載されています。ビルド番号の最後の部分は AKU の番号を示しています。たとえば、*Build 18552.0.7.5* はデバイスが AKU バージョン 0.7.5 を稼働していることを示します。

フォーンソフトウェア

フォーンソフトウェアのバージョンを指定するには以下を実行します。

スタート > フォーン > メニュー > オプション > フォーンタブの順にタップします。

各セクションの説明

このガイドで説明するトピックは以下の通りです。

- **第 1 章、起動する**は FR6000 を初めて起動し実行する手順について説明します。
- **第 2 章、FR6000 シリーズを使用する**は FR6000 を使用する基本的な手順(電源の投入、リセット、データ入力とキャプチャリング)について説明します。
- **第 3 章、ブルートゥースを使用する**は FR6000 のブルートゥース機能について説明します。
- **第 4 章、ActiveSync** はモバイル・コンピュータの情報とホスト・コンピュータの情報の同期化について説明します。
- **第 5 章、フォーンを使用する**は FR6000 のフォーンを使用する基本手順について説明します。
- **第 6 章、GSM の設定**は FR6000 のフォーンを使用する基本的な GSM の設定について説明します。
- **第 7 章、アクセサリ**は使用可能なアクセサリと FR6000 でそのアクセサリを使用する方法について説明します。
- **第 8 章、メンテナンスとトラブルシューティング**は FR6000 のクリーニングと保管手順について説明し、FR6000 を動作する際に想定される問題の解決策を提供します。
- **別表 A、技術仕様**は FR6000 の技術仕様について記載されています。

表記法

このガイドには以下の表記法が使用されています。

- 「ハンディー」はモトローラ FR6000 のハンドヘルド・コンピュータを指します。
- 以下を強調するために*斜字体*が使用されます。
 - このガイドと関連文書の各章および各セクション
 - 画面のアイコン。
- 以下を強調するために**太字テキスト**が使用されます。
 - ダイアログボックス名、ウインドウ名、画面名
 - ドロップダウンリスト名とリストボックス名
 - チェックボックス名とボタン名
 - キーパッドのキー名
 - 画面のボタン名
- 黒点(●)は以下を示します。
 - アクション項目
 - 代替リスト
 - 必ずしも順次実行するものではないが必要なステップのリスト
- 番号付けされたリストなどの順次リスト(たとえば、段階を追って実行する手順を示すもの)。

関連文書

- *FR6000 シリーズ・クイック・スタート・ガイド*, p/n 72-119047-01。
- *FR6000 シリーズ Windows Mobile 6.1 管理ガイド*, p/n 72-119053-01。
- *Microsoft® Applications for Mobile 6.1 ユーザガイド*, p/n 72E-108299-xx。
- 最新の ActiveSync ソフトウェアは以下のサイトで利用可能です。<http://www.microsoft.com>。

このガイドおよび全ガイドの最新バージョンについては、以下にアクセスしてください。
<http://www.motorola.com/enterprisemobility/manuals>。

サービス情報

お使いの装置に問題がある場合は、最寄りのモトローラ・エンタープライズ・モビリティ・サポートにご連絡ください。連絡先については、以下にアクセスしてください。

<http://www.motorola.com/enterprisemobility/contactsupport>。

エンタープライズ・モビリティ・サポートに連絡される際には、以下の情報をご用意ください。

- 装置のシリアル番号
- モデル番号または製品名
- ソフトウェアの種類とバージョン番号

モトローラはサポート契約に記載の期限以内に電子メール、電話またはファックスを使用して対応させていただきます

問題がモトローラ・エンタープライズ・モビリティ・サポートで解決できない場合は、お使いの装置をサービス部門に返品してください。追って状況を具体的にお知らせします。承認された輸送用ボックスが使用されていない場合は、モトローラは出荷中の損傷に対しては責任を負いません。装置を不適切に出荷すると保証が無効になる場合があります。

モトローラ・ビジネス・パートナーからエンタープライズ・モビリティ・ビジネス製品を購入された場合は、そのビジネス・パートナーに連絡していただきサポートを得てください。



第 1 章 起動する

はじめに

この章は FR6000 の各パーツの説明と、バッテリーの取り付けおよび充電方法、ストラップの交換方法、FR6000 に初めて電源を入れる方法について説明します。

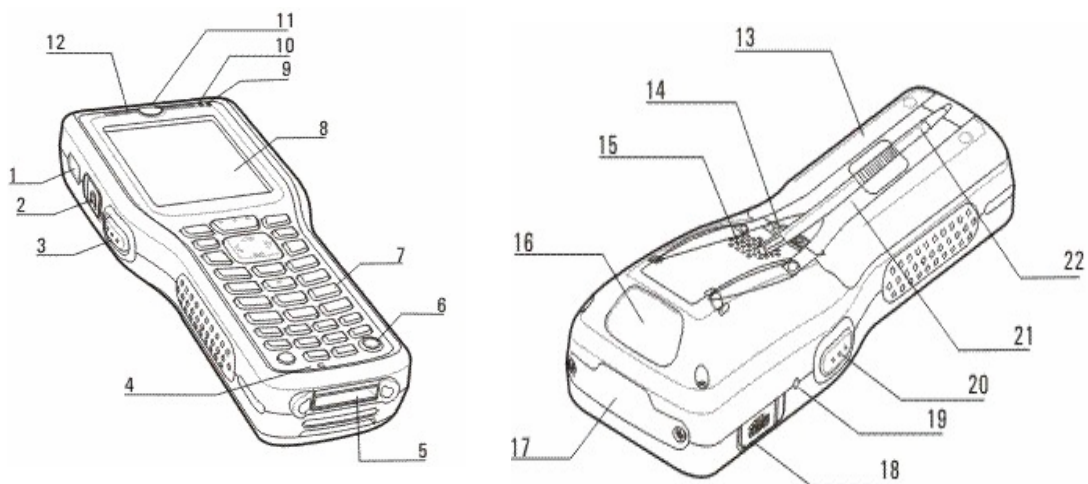


図 1-1 FR6000 シリーズの外観

- | | | | |
|-------------------|----------------|-----------------|-----------------|
| 1. IrDA ウィンドウ | 2. ヘッドセット・ジャック | 13. バッテリ・ドア | 14. ドア・ラッチ |
| 3. スキャン・ボタン | 4. マイクロフォン | 15. スピーカー | 16. スキャン・ウィンドウ |
| 5. I/O コネクタ | 6. 電源ボタン | 17. CF カード・スロット | 18. SD カード・スロット |
| 7. キーパッド | 8. タッチ・スクリーン | 19. リセット・ボタン | 20. スキャン・ボタン |
| 9. 無線ステータス LED | 10. チャージング LED | 21. ハンドストラップ | 22. スタイルス |
| 11. スキャン/デコード LED | 12. レシーバ | | |

開梱する

FR6000 シリーズの保護カバーはすべて注意深く取り外してください。輸送箱は後日の保管用、配送用として残しておいてください。

以下が揃っていることを確認してください。

- FR6000 本体
- 3600 mAh リチウムイオン・バッテリー
- バッテリー・カバー/ストラップ・アセンブリ
- FR6000 シリーズ・クレードル・アダプター・クリップ
- 紛失防止ストラップつきスタイラス
- 保護用画面プロテクタ(ディスプレイ・ウィンドウに貼付け済み)
- 管理ガイド
- クイック・スタート・ガイド

本体の損傷の有無をチェックしてください。装置がなかったり、損傷がある場合は、モトローラ・エンタープライズ・モビリティ・サポートセンターに直ちに連絡してください。連絡先については、[12 ページ](#)を参照してください。

アクセサリ

[表 1-1](#) は FR6000 で使用するアクセサリをリストしています。

表 1-1 FR6000 シリーズ・アクセサリ

パーツ番号	説明
クレードル	
CRD7X00-1000RR	MC75 RoHS 対応シングル・スロット USB クレードル(スペア・バッテリー充電付き):電源(KT-14000-148R)、および AC ラインコード(VM1072-VM1289)を別に注文する必要があります。
CRD7X00-101RR	1 スロット USB クレードル・キット:シングル・スロット USB 充電クレードル(スペアバッテリー充電付き)、電源(KT-14000-148R)および AC ラインコード(VW1072-W1289)
CRD7X00-100RR	MC75 シングル・スロット USB クレードル・キット:シングル・スロット USB 充電クレードル(スペア・バッテリー充電付き)、電源(KT-14000-148R)と AC ラインコード(VW1072-W1289)
充電	
SAC7X00-4000CR	MC75 4 スロット・バッテリー充電器。MC3000 バッテリーにも使用可能です。電源(KT-14000-148R)および(VM1072-VM1289)AC ラインコードが必要です。
SAC7X00-400CR	MC75 および MC3000 用 4 スロット・バッテリー充電器「トースター」。スペア標準/高性能バッテリーを充電します。MC75 のシム、電源(KT-14000-148R)、および US AC ラインコード(23844-00-00R)を搭載しています。
SAC7X00-401CR	MC75 および MC3000 用 4 スロット・バッテリー充電器「トースター」。スペア標準/高性能バッテリーを充電します。MC75 のシム、電源(KT-14000-148R)を搭載しています。3 ワイヤ AC ラインコードを別に購入する必要があります。
KT-14000-148R	KT-14000-148R - シングル・スロット・クレードル(CRD5500-1000UR)および 4 スロット・バッテリー充電器(SAC5500-4000CR)に電源を供給します。各国用の 3 ワイヤー接地 AC ラインコードを別に注文してください。

表 1-1 FR6000 シリーズ・アクセサリ(続き)

パーツ番号	説明
50-14000-249R	バレルジャック付き AC 電源。クレードルなしに MC55 端末を充電できます。USB(25-108022-01R)が必要です。あるいは、(25-112560-02R)ケーブルのみを充電します。各国用の 2 ワイヤー接地 AC ラインコードを別に注文してください。
BTRY-MC7XEAB00	FR6000 リチウムイオン・バッテリー、3600 mAh
MN2800AAPBL	FR6000 シリーズ・バッテリー・ドア
MN2800AAPHS	FR6000 シリーズ・ハンド・ストラップのみ
MN2800AAPCF	FR6000 シリーズ・コンパクト・フラッシュ・カバー・ドアとファスナー。10 パック。
MN2800BAAPCF	FR6000 シリーズ・コンパクト・フラッシュ・カバー・ドアとファスナー。50 パック。
25-118707-01R	FR6000 シリーズ自動充電ケーブル(シガレット・ライター・アダプタ)
ケーブル	
25-68596-01R	ホストシステムへのクレードル用 USB ActiveSync ケーブル。
25-118708-01R	FR6000 シリーズ USB 充電
25-118710-01R	FR6000 シリーズ充電ケーブルのみ
その他	
KT-76490-01R	バッテリー・アダプタ(4 スロット充電用シムのみ、5 パケット)
MN2800AAPCD	FR6000 シリーズ・クレードル・アダプタ・クリップ – FR6000 シリーズのモバイル・コンピュータをクレードルに適用します。3 パック。
MN2800BAAPCD	FR6000 シリーズ・クレードル・アダプタ・クリップ – FR6000 シリーズのモバイル・コンピュータをクレードルに適用します。10 パック。
MN2800AAPST	テザー機能付き FR6000 シリーズ・スペア・スタイラス。3 パック。
MN2800AAPSC	2.8" QVGA ディスプレイ用画面プロテクタ。3 パック。
90-17C28-001R	ハンズ・フリー・ヘッドセット(イヤークリップ)。

起動する

FR6000 を初めて起動する際には、以下を実行します。

- メイン・バッテリーを取り付けます。
- FR6000 を充電します。
- FR6000 の電源を入れます。
- FR6000 を設定します。

メイン・バッテリーを取り付ける

✓注 FR6000 には 3600 mAh バッテリーが同梱されています。

メイン・バッテリーを取り付けるには以下を実行します。

1. ラッチを解除位置まで押します。
2. バッテリー・ドアを下に向けてスライドして取り外します。
3. 最初にバッテリーの下部を FR6000 の背面のバッテリー・コンポーネントに挿入します。

✓注 バッテリーの充電面がバッテリー・コンパートメントの充電面の上になるように、バッテリーを正しい位置に取り付けてください。

4. バッテリー・リリース・ラッチがカチッと鳴るまで、バッテリーをバッテリー・コンパートメントに押し込みます。
5. バッテリー・ドアを上方にスライドさせます。
6. ラッチをロック位置まで押します。

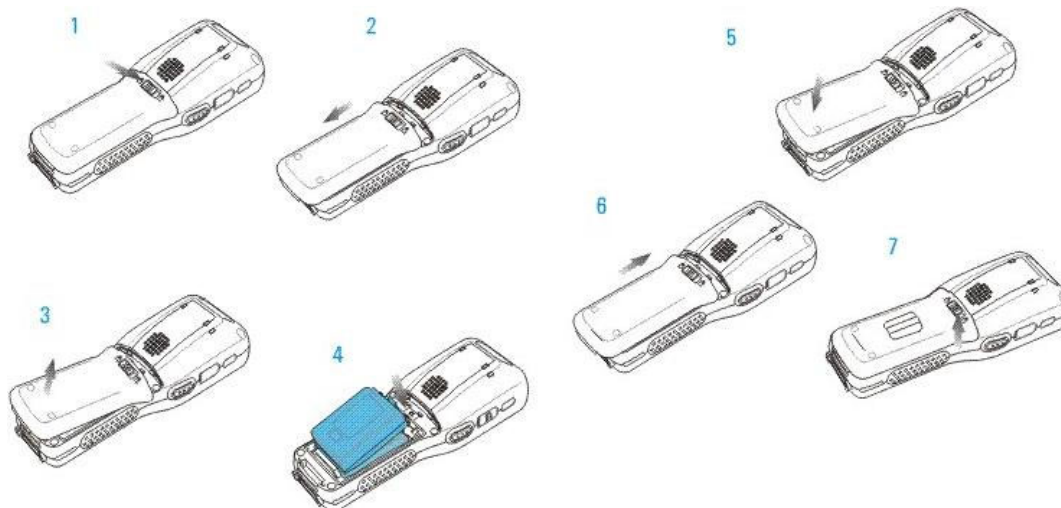


図 1-2 バッテリーの挿入

7. バッテリー・カバー・ラッチが開いた状態で、カバーが所定の位置にフィットするまでカバーを前方へ押します。
8. ラッチをロック位置まで押してカバーをロックします。
9. ハンドストラップ・スロットにハンドストラップを挿入し、しっかり押して固定します。

バッテリーを挿入しバッテリー・カバーを交換したら、FR6000 に電源が入ります。

バッテリーを取り外す

1. バッテリー・ドアを取り外します。
2. 5 秒間待機します。
3. バッテリーを取り外します。

バッテリーを充電する

**注意**

バッテリーの安全性については、[70 ページのバッテリーの安全性ガイドライン](#)に記載のガイドラインを遵守してください。

メイン・バッテリーとメモリバックアップ・バッテリーを充電する

FR6000 を初めてお使いになる前に、緑色の充電/バッテリー・ステータス LED が点灯されるまでメインバッテリーを充電してください(充電ステータスの表示については、[18 ページの表 1-2](#) を参照してください)。FR6000 を充電するには、適切な電源を供給するケーブルまたはクレードルを使用してください。FR6000 で使用するアクセサリの詳細については、[第 5 章アクセサリ](#) を参照してください。

FR6000 には、完全に充電されたメイン・バッテリーから自動的に充電するメモリのバックアップ・バッテリーが搭載されています。初めて FR6000 を使用する際には、バックアップ・バッテリーを約 36 時間フル充電する必要があります。バックアップ・バッテリーが放電状態のときも同様です。この状態はメインバッテリーが数時間取り外された場合に発生します。FR6000 のメイン・バッテリーを取り外した場合、バックアップ・バッテリーは RAM データをメモリに 15 分以上保持します(室温で)。FR6000 のバッテリー状態が非常に低下している場合、メイン・バッテリーとバックアップ・バッテリーを組み合わせると RAM データはメモリに 48 時間以上保持されます。

メイン・バッテリーを充電するには、充電ケーブルまたはクレードルを使用してください。

- シングル・スロット USB/シリアル・クレードル

メイン・バッテリーを取り付けるには以下を実行します。

1. 充電アクセサリを適切な電源に接続します。
2. FR6000 をクレードルに挿入するか、ケーブルに接続します。FR6000 シリーズが充電し始めます。充電/バッテリー ステータス LED は充電中には琥珀色に点滅します。フル充電されるとグリーンが点灯します。充電の表示については [18 ページの表 1-2](#) を参照してください。

3600 mAh バッテリーは約 6 時間でフル充電されます。

表 1-2 LED 充電インジケータ

充電/バッテリー ステータス LED	説明
オフ	FR6000 は充電されていません。 FR6000 はクレードルに正しく挿入されていないか、電源に接続されていません。 充電器/クレードルに電源が入っていません。
オレンジの遅い点滅	FR6000 は充電中です。
グリーンの点灯	充電が完了しています。 注: バッテリーが FR6000 に初めて挿入される場合、バッテリー電源が少なかったり、 バッテリーが完全に挿入されていないと、LED はオレンジに点滅します。
赤色の早い点滅	充電エラー、たとえば、 <ul style="list-style-type: none"> ● 温度が高過ぎるか低過ぎます。 ● 充電時間が長過ぎて完了していません(通常 8 時間)。
オレンジのシングル点滅 (装置がオンの場合)	バッテリーが消耗しています。
オレンジの早い点滅	バッテリーが過温度の状態です。

スペア・バッテリーの充電

スペア・バッテリーを充電するアクセサリの使用方法については、[第 5 章、アクセサリ](#)を参照してください。

充電温度

0°C ~ 45°C (32°F ~ 113°F)の温度でバッテリーを充電してください。

短時間で充電できるように、FR6000 またはアクセサリのクレードルは本体と予備バッテリーを一定時間で交互に充電をして、バッテリーの放熱を防ぎます。FR6000 またはアクセサリのクレードルは、異常温度による充電の無効を LED で示します。[18 ページの表 1-2](#) を参照してください。

FR6000 に電源を入れる

FR6000 をオンにするには電源ボタンを押してください。

初めて FR6000 をオンにすると、FR6000 がフラッシュ・ファイル・システムを初期化してスプラッシュ画面が約 1 分間表示されてから、キャリブレーションウィンドウが表示されます。スプラッシュウィンドウはコールド・ブートの際にも表示されることに注意してください。

✓注 バッテリーが始めて挿入されて、FR6000 に電源が入ると、デバイスはブートし、電源が自動的に入ります。

画面のキャリブレーション設定をする

タッチスクリーンのカーソルがスタイラスの先端に一致するように画面を調整するには、以下を実行します。

1. スタイラスを FR6000 の背面のホルダーから取り外します。
2. スタイラスの先端を画面に表示される各ターゲットの中央に注意しながら軽く押したままにします。
3. ターゲットが画面を移動するのに伴い、その作業を繰り返します。次に、画面を軽くタップして続行します。

バッテリーのステータスをチェックする

FR6000 のメイン・バッテリーの充電ステータスをチェックするには、**スタート > 設定 > システムタブ > 電源アイコン**の順にタップして**電源**ウィンドウを表示します。

各設定をするには、**詳細**タブをタップして FR6000 を設定し、指定時間後にオフにします。

CF カードの取り付け

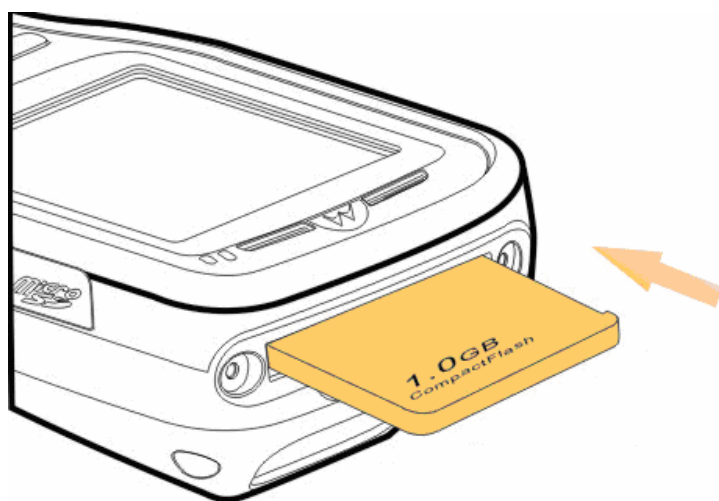


図 1-3 CF カードの取り付け

CF カードを取り付けるには以下を実行します。

1. カバーを固定しているねじを取り外します。
2. カバーを取り外します。
3. カードを接触面を裏向けにして CF スロットに挿入します。
4. 取り外したカバーを取付け、2 本のねじで固定します。

マイクロ・セキュア・デジタル(microSD)カード

microSD カード・スロットは二次的な非揮発性ストレージです。このスロットは FR6000 本体の側面にあります (図 1-4 を参照)。詳細についてはカードに添付されているガイドを参照してください。ご使用にあたっては、メーカーの推奨事項を遵守してください。



注意

microSD カードの損傷を防ぐため適切な ESD (静電気放電) 対策を遵守してください。適切な ESD 対策には ESD マットでの作業、装置が正しく接地されていることを含みます (ただし、それらに限定されません)。

microSD カードを取り付けるには以下を実行します。

1. FR6000 の電源をオフにします。
2. FR6000 の側面のメモ리카ード のカバーを開きます。

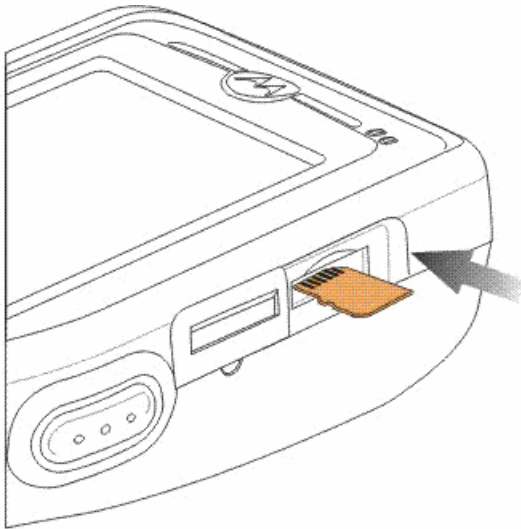


図 1-4 microSD カードの取り付け

3. カードをカードの接触面を表向けに、カットコーナーを左側にして、カチッと鳴るまで挿入します。
4. メモ리카ードのカバーを閉じます。

microSD カードを取り外すには以下を実行します。

1. FR6000 の電源をオフにします。
2. メモ리카ードのカバーを開きます。
3. 注意深くカードを押しながらリリースしエジェクトします。
4. カードをカードスロットから取り外します。
5. メモ리카ードのカバーを閉じます。

ハンドストラップを調節する

FR6000 ハンドストラップはバッテリー・カバーの下部に取り付けます。長時間 FR6000を快適に携帯できるように、ハンドストラップを調節します。ハンドストラップを調節するには、以下を実行します。

1. ハンドストラップをハンドストラップ・スロットのいずれかの方向に挿入し、緩くしたり締めたりして固定します。
2. 両側を押し付けてハンドストラップを固定します。

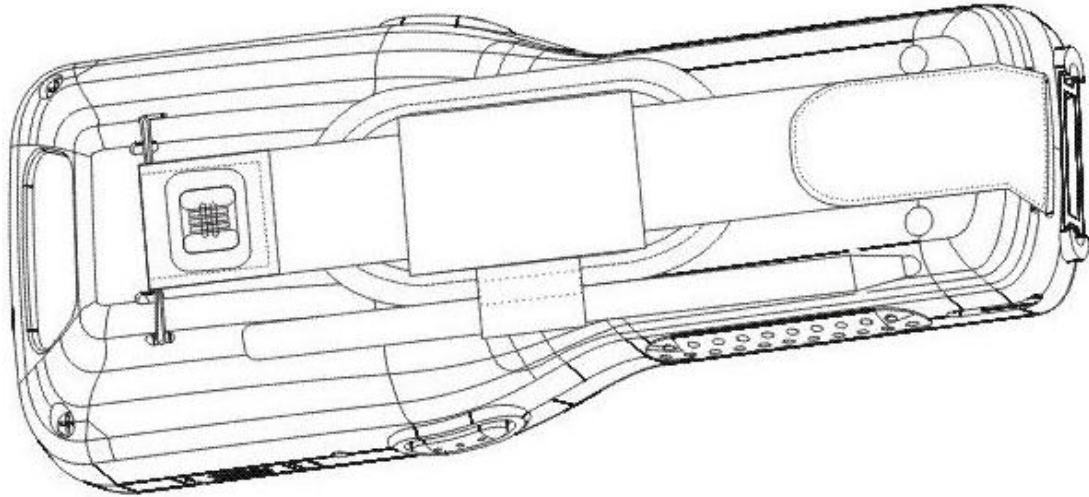


図 1-5

画面プロテクタを取り外す

画面プロテクタは FR6000 に出荷時には貼付されています。モトローラは磨耗を最小限にするためにこのプロテクタの使用を推奨します。画面プロテクタはタッチスクリーン・ディスプレイの使い勝手および耐用性を強化します。

画面プロテクタを取り外すには、クレジットカードの様な薄いプラスチックカードを使用してコーナーを持ち上げて、ディスプレイから注意深く取り外します。

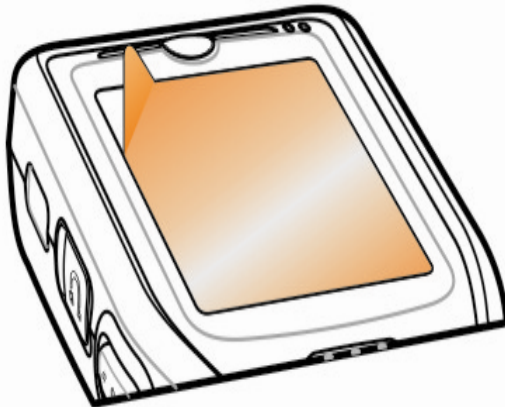


図 1-6 画面プロテクタの取り外し



警告 プロテクタを取り外す際に、鋭利な物を使用しないでください。ディスプレイが損傷する恐れがあります。



注 画面プロテクタを使用しない場合、保証範囲に影響することがあります。交換用のプロテクタを購入するには、モトローラ社までご連絡ください。画面プロテクタの設置説明書も含まれます。パーツ番号: MN2800AAAPSC。

メイン・バッテリーを交換する

1. ハンドストラップを緩めます。
2. バッテリー・カバー・ラッチを解除位置までリリースします。
3. ディスプレイがオフになってから 5 秒間待機してください。
4. バッテリー・カバーの上部を持ち上げて取り外します。
5. バッテリー上部のバッテリー・リリース・ラッチを押してロック解除し、バッテリーを取り外します。
6. 最初に交換用バッテリーの下部を FR6000 の背面のバッテリー・コンポーネントに挿入します。
7. バッテリー・リリース・ラッチがカチッと鳴るまで、バッテリーをバッテリー・コンパートメントに押し込みます。

✓ **注** バッテリーの充電面がバッテリー・コンパートメントの充電面の上になるように、バッテリーを正しい位置に取り付けてください。

8. バッテリー・カバー・ラッチを開けて、カバーを前方に押します。
9. ラッチをロック位置まで押してカバーをロックします。
10. ハンドストラップ・スロットにハンドストラップを挿入し、しっかり押して固定します。

バッテリーを挿入し、バッテリー・カバーを取り替えると、FR6000 に電源が入ります。

バッテリーの管理

バッテリーを保管するための以下のヒントを遵守してください。

✓ **注** FR6000 の工場設定(無線LAN)は、オンに設定されています。

- FR6000 は、使用していない場合でも、常に AC 電源に接続しておいてください。
- 短時間使用されないと、FR6000 がオフになるよう設定してください。
- 短時間使用されないとバックライトがオフになるよう設定してください。
- 使用していない場合は、ワイヤレスマネージャからすべてオフにしてください。
- 高速充電時には FR6000 の電源をオフにしてください。

電源の設定を変更する

短時間使用しない場合に、FR6000 をオンにする設定の手順。、

1. スタート > 設定 > システムタブ > 電源アイコン > 詳細タブの順にタップします。
2. **バッテリー電源オン: 使用されていない場合にデバイスをオフにする**チェックボックスを選択し、ドロップダウン・リストから数値を選択します。
3. **ok** を選択します。

バックライトの設定を変更する

バッテリー電源を効率良く節約するには、以下の手順でバックライトの設定を変更してください。

1. スタート > 設定 > システムタブ > バックライトアイコン > 電源タブの順にタップします。
2. デバイスが使用されていない場合にバックライトをオフにするチェックボックスを選択して、ドロップダウン・リストから数値を選択します。
3. 輝度タブを選択します。
4. スライダーを使用して、バックライトに低い数値を設定します。
5. ok を選択します。

無線をオフにする

Windows Mobile 6.1 デバイスにはワイヤレス・マネージャが搭載されています。このマネージャはデバイスのワイヤレス機能をワイヤレス・マネージャ1つで簡単に有効/無効化したり、設定することができます。

ワイヤレス・マネージャを開くには、接続アイコンまたは Today 画面のワイヤレス・マネージャをタップします。

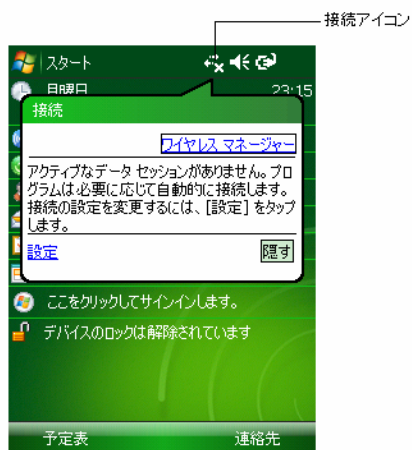


図 1-7 ワイヤレス・マネージャを開く

ワイヤレス・マネージャを選択します。



図 1-8 ワイヤレス・マネージャの選択

✓**注** ワイヤレス接続オプションは設定により異なります。

ワイヤレス接続を有効または無効にするには、特定のボタンをタップします。

ワイヤレス接続をすべて有効または無効にするには、**すべての**ボタンをタップします。接続を設定するには、**メニュー**をタップします。

第 2 章 FR6000 を使用する

はじめに

この章では FR6000 のボタン、ステータス・アイコン、コントロールについて説明します。FR6000 の電源投入、リセット、データの入力とキャプチャリングといった FR6000 の基本的な使用手順についても説明します。

FR6000 の工場設定における無線ステートは以下の通りです。

- ブルートゥース - オフ
- フォーン - オン
- ワイヤレス - オン。

今日の画面

Today の画面には今後のアポイントメント、ステータス・インジケータといった重要な情報が表示されます。関連プログラムを開くには画面のセクションをタップします。あるいは、**スタート > Today** の順にタップして **Today** の画面を表示します。

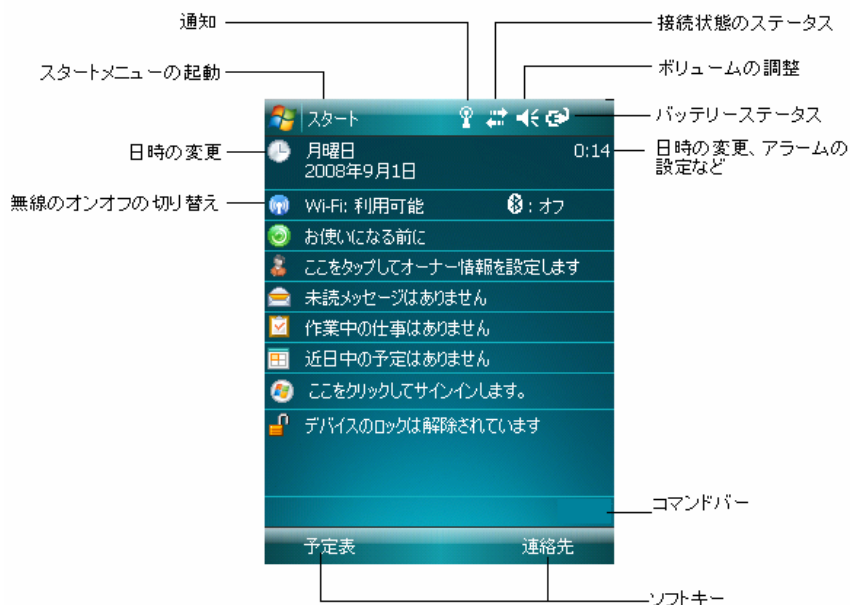


図 2-1 Today の画面

Today の画面をカスタマイズするには、スタート > 設定 > Today のアイコンの順にタップします。背景をカスタマイズするにはデザインタブを使用し、画面に表示される項目のリストと順序を変更するには項目タブを使用します。

ステータス・アイコン

画面上部のナビゲーション・バーには表 2-1 にリストされているステータス・アイコンがあります。

表 2-1 ステータス・アイコン
















アイコン	機能	説明
	通知	バックアップ・バッテリー残量が少なくなっています。
		1 つ以上のインスタント・メッセージが受信されたことを通知します。
		1 つ以上の電子メール/テキスト・メッセージが受信されたことを通知します。
		表示されていない通知アイコン があります。タップすると残りのアイコンが表示されます。
		今後のカレンダー・イベントのリマインダーを示します。
	接続状態:	接続状態がアクティブです。
		接続状態が非アクティブです。
		同期化が行われています。
		WLAN を利用できます。
		WLAN を使用中です。
		HSDPA を利用できます。(FR6076 のみ)
		3G を利用できます。(FR6076 のみ)
		GPRS を利用できます。(FR6074 および FR6076)
		EGPRS を利用できます。(FR6074 および FR6076)

表 2-1 ステータス・アイコン(続き)

アイコン	機能	説明
	WAN	コールが見つかりませんでした。(FR6076/ FR6074のみ)
		SIM カードが取り付けられていないときに電話がありました。(FR6076/ FR6074 のみ)
		ボイス・コールが進行中です。(FR6076/ FR6074 のみ)
		コールが転送されます。(FR6076/ FR6074 のみ)
		コールを保留しています。(FR6076/ FR6074 のみ)
		スピーカーフォンがオンです。(FR6076/ FR6074 のみ)
		アンテナ/信号アイコン: ワイヤレスがオン/良好な信号です。(FR6076/ FR6074 のみ)
		アンテナ/信号アイコン: ワイヤレスがオフです。(FR6076/ FR6074 のみ)
		アンテナ/信号アイコン: 圏外またはサーチ中です。(FR6076/ FR6074 のみ)
		HSDPA に接続しています。(FR6076 のみ)
		HSDPA を使用中です。(FR6076 のみ)
		3G に接続しています。(FR6076 のみ)
		3G を使用中です。(FR6076 のみ)
		GPRS に接続しています。(FR6074、FR6076)
		GPRS を使用中です。(FR6074、FR6076)
		EGPRS に接続しています。(FR6074、FR6076)
		EGPRS を使用中です。(FR6074、FR6076)
		ローミングしています。(FR6076/ FR6074 のみ)
		SIM カードが取り付けられていません。(FR6074、FR6076)
	スピーカー	全サウンドがオンです。
		全サウンドがオフです。
		バイブレーションがオンです。
	バッテリー	メイン・バッテリーを充電しています。
		バッテリー電源が完全に消耗しています。
		メイン・バッテリーが少ないです。
		メイン・バッテリーのレベル。
	時刻と次の アポイントメント	アナログまたはデジタル形式で現在の時刻を表示します。

画面下部のコマンド・バーには表 2-2 にリストされているタスク・トレイアイコンがあります。

表 2-2 タスク・トレイ・アイコン

アイコン	名前	説明
	ActiveSync	FR6000 とホスト・コンピュータ間のアクティブなUSB接続。

プログラム

表 2-3 にはスタート・メニューのデフォルト・プログラムがリストされています。

表 2-3 スタート・メニューのプログラム























アイコン	名前	説明
	Office モバイル	モバイル デバイスで Microsoft® Office アプリケーション スイートのすべてのアプリケーションを使用できます。 Excel Mobile - ワークブックを新規作成したり、Microsoft® Excel® ワークブックを編集します。 OneNote Mobile - メモを新規作成したり、既存のメモを表示します。 PowerPoint Mobile - Microsoft® PowerPoint® のスライドとプレゼンテーションを表示します。 Word Mobile - Microsoft® Word 文書を作成、表示、編集します。
	カレンダー	アポイントメントを管理し、ミーティングのリクエストを作成します。
	連絡先	友人および同僚を管理します。
	Internet Explorer モバイル	ウェブおよび WAP サイトをブラウズするだけでなく、インターネットから新規プログラム、新規ファイルをダウンロードします。
	メッセージング	電子メールおよびテキスト・メッセージを送受信します。
	ヘルプ	現在の画面またはプログラムについては、ヘルプ・トピックを参照します。

表 2-4 にはプログラム・ウィンドウにリストされているプログラムが記載されています。

表 2-4 プログラム・ウィンドウのプログラム

アイコン	名前	説明
	ゲーム	バブルブレイカー、ソリティア
	サンプル AP	DataWedge、Notify、Scanner
	ActiveSync	FR6000 とホスト・コンピュータまたは Exchange Server 間の情報を同期化します。
	計算機	基本的な計算機機能。
	ファイル・エクスプローラ	デバイスのファイルを整理/管理します。
	ヘルプ機能	一部の機能の使用方法に関するヘルプを表示します。
	GPSXtra	GPS データをダウンロードして GPS のパフォーマンスを向上します。 注: For FR6074,FR6076
	インターネットの共有	FR6000 のデータ接続を使用して、ノートブック・コンピュータをインターネットに接続します。
	メッセンジャ	Windows Live Messenger
	ノート	手書きノートまたは入力したメモやボイス・レコーディングを作成します。
	写真とビデオ	写真、動画 GIF、ビデオ・ファイルを表示/管理します。
	検索	FR6000 で連絡先、データ、その他の情報を検索します。
	タスク・マネージャ	実行中の全タスクを表示/停止します。
	タスク	タスクを管理します。
	Windows Live	モバイル版Windows Live™ を使用して、ウェブの情報を検索します。
	Windows Media	オーディオ・ファイルとビデオ・ファイルを再生します。

設定

表 2-5 には FR6000 にインストール済みの管理アプリケーションが記載されています。設定ウィンドウを開くには、スタート > 設定の順にタップします。

表 2-5 設定ウィンドウの各設定









アイコン	名前	説明
パーソナル・タブ		
	ボタン:	プログラムをボタンに割り当てます。
	入力	各入力方法にオプションを設定します。
	ロック	FR6000 にパスワードを設定します。
	メニュー	スタートメニューに表示されるプログラムを設定します。
	オーナーの情報	FR6000 の個人情報を入力します。
	フォーン	コールの作成と受信、コール間の切り替え、会議コールの設定を行います。 (FR6076/ FR6074 のみ)
	サウンドと通知	イベント、通知などのサウンドを有効にします。様々なイベントの通知方式を設定します。
	今日	Today の画面に表示される情報をカスタマイズします。

表 2-5 設定ウィンドウの各設定(続き)















アイコン	名前	説明
システム・タブ		
	802.11d ツール	802.11d を有効または無効にします。
	バージョン情報	FR6000 で使用されるWindows Mobile® のバージョン、プロセッサの種類といった基本情報を表示します。
	バックライト	ディスプレイのバックライトのタイムアウトを設定し、輝度を調節します。
	証明書	FR6000 にインストールされた証明書の情報を表示します。
	クロックとアラーム	デバイスのクロックを地域の日時または旅行先の時間帯に設定します。アラームは曜日および時刻を指定することも可能です。
	カスタマー・フィードバック	Windows Mobile 6.1 ソフトウェアのフィードバックを送信します。
	デバイスの情報	FR6000 のソフトウェアとハードウェアの情報を表示します。
	暗号化	ストレージ・カードのファイルを暗号化します。暗号化ファイルはお使いのデバイスでのみ読み取り可能です。
	エンローラ	証明書サーバから証明書を取得できます。
	エラー報告	デバイスのエラー報告機能を有効または無効にします。この機能が有効でプログラムのエラーが発生すると、プログラムおよびコンピュータのステータスの技術データが、テキスト・ファイルに記録され、希望されると Microsoft の技術サポートまで送信されます。
	外部 GPS	必要に応じて、適切な GPS 通信ポートを設定します。お使いのデバイスに GPS データにアクセスするプログラムがある場合や、GPS レシーバを FR6000 に接続している場合に必要になります。
	プログラムの管理	インストール履歴を表示します。
	メモリ	デバイスのメモリの割り当てステータスとメモリカードの情報をチェックして、現在実行されているプログラムを停止します。
	電源	バッテリー電源をチェックし、ディスプレイをオフにするタイムアウトを設定してバッテリー電源を節約します。

表 2-5 設定ウィンドウの各設定(続き)

アイコン	名前	説明
	地域設定	FR6000 で数値、通貨、日付、時刻を表示する形式を含む地域設定を行います。
	プログラムの削除	FR6000 でインストールしたプログラムを削除します。
	画面	画面の方向の変更、画面の再調整、画面のテキストサイズの変更を行います。
	タスク・マネージャ	実行中の全タスクを表示/停止します。
	Windows のアップデート	Microsoft のウェブサイトへリンクします。お使いのデバイス上で最新のセキュリティ・パッチまたはファイルが設定された Windows Mobile® をアップデートします。この機能は使用しないでください。この機能については、モトローラへお問い合わせください。
接続タブ		
	ビーム	FR6000 を設定して着信 IrDA ビームとブルートゥース・ビームを受信します。
	ブルートゥース	他のブルートゥース・デバイスを検索します。
	接続	デバイスがインターネットまたはプライベート・ローカル・ネットワークに接続するよう、デバイスにダイヤルアップ、ブルートゥースといった 1 つ以上のモデム接続のタイプを設定します。
	ドメイン・エンロール	ドメインのエンロール
	PC への USB 接続	ネットワーク接続の拡張を有効または無効にします。
	Wi-Fi	ワイヤレス・ネットワーク接続を設定し、設定をカスタマイズします。
	ワイヤレス・マネージャ	FR6000 のワイヤレス無線を有効または無効にします。WLAN、ブルートゥースの設定をカスタマイズします。

ボリュームを調節する

システム・ボリュームを調節するには、ナビゲーション・バーでスピーカーアイコンを使用して以下を実行します。

1. スピーカー・アイコンをタップします。ボリューム・ダイアログボックスが表示されます。

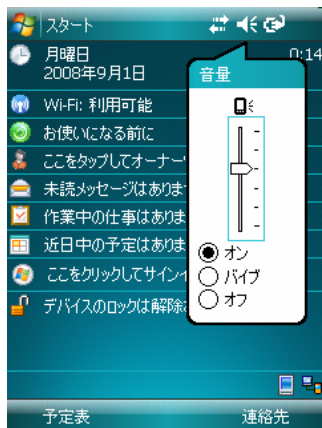


図 2-2 ポリューム・ダイアログボックス

2. ポリュームを調節するには、スライドバーをタップして移動します。
3. ポリュームをオンまたはオフにするには、無線ボタンの**オン**または**オフ**を選択します。

サウンドと通知ウィンドウまたは FR6000 の側面にある上/下へボタンを使用して、システム・ポリュームを調整することもできます。

バッテリー・ステータスの表示

バッテリー・アイコンがナビゲーション・バーに表示されてバッテリーの電源レベルを示します。メイン・バッテリーまたはバックアップ・バッテリーの電源が所定レベル以下に低下した場合、アイコンはそのステータスを示します。バッテリー・ダイアログボックスが表示されメインまたはバックアップ・バッテリーのステータスを示します。

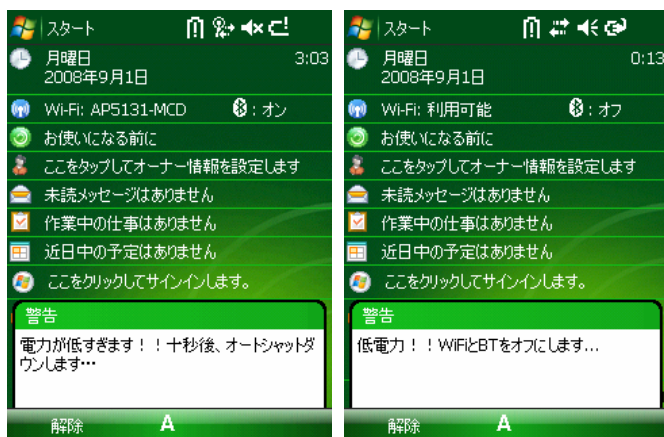


図 2-3 バッテリー・ステータス・ダイアログボックス

Today の画面が表示されると、**バッテリー・アイコン**はナビゲーション・バーに常に表示されます。アイコンはバッテリーの電源レベルを示します。**解除**ボタンが押されるまでメッセージは表示されます。



図 2-4 タイトル・バーのバッテリー・アイコン

電源ウィンドウを使用してバッテリー・ステータスを表示することもできます。

電源の設定

1. スタート > 設定 > 電源アイコン > メイン・タブの順にタップします。電源の残量バーが表示されます。

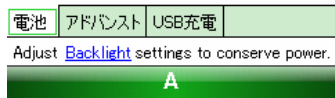
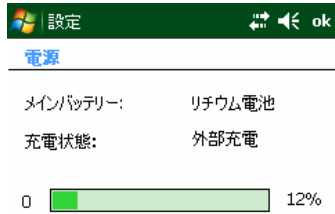


図 2-5 メイン・タブ

2. 節電するには、以下のオプションにチェックを入れて、ok をタップします。

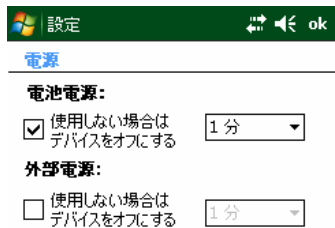


図 2-6 詳細タブ

3. 低速充電または高速充電を選択して、ok をタップします。



図 2-7 USB 充電タブ

メイン・バッテリーの温度通知

バッテリー内の温度が特定の温度基準値を超えると、下図のように温度通知システムが警告を表示します。

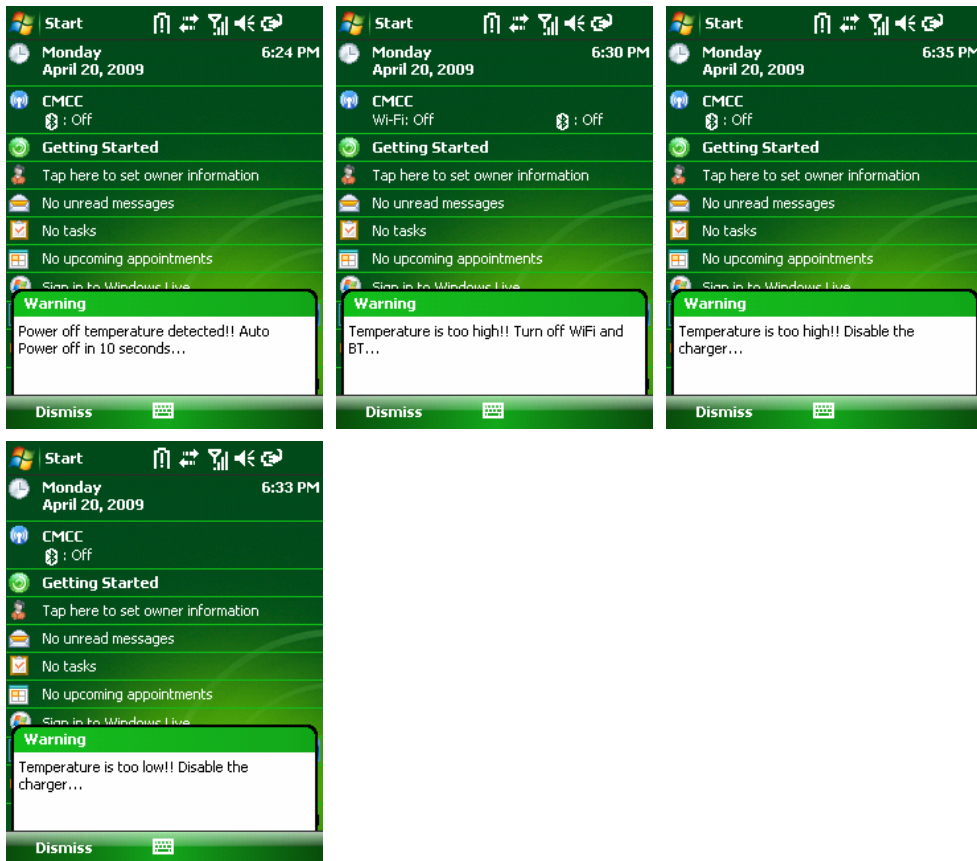


図 2-8 メイン・バッテリーの温度の通知

✓注 温度の警告ダイアログボックスは、非表示をタップするまでは表示されたままです。

LED インジケータ

FR6000 には 3 つの LED インジケータがあります。スキャン/デコード LED はバーコード・スキニングのステータスを示します。充電/バッテリー・ステータス LED はバッテリーの充電とステータスを示します。無線のステータス LED は各種接続のステータスを示します。表 2-6 は LED インジケータを説明しています。



図 2-9 LED インジケータ

1. スキャン/デコード LED
2. チャージング LED
3. 無線ステータス LED

表 2-6 LED の説明

LED のステータス	説明
スキャン/デコード LED	
グリーンのシングル点滅	バーコードは正常にデコードされました。
レッドの点灯	レーザーが有効で、スキャン中です。
システム LED (オレンジの点滅)	この LED の動作は Microsoft システムにより調節されています。
オフ	無効です。
チャージング/バッテリーステータス LED	
オフ	FR6000 は充電されていません。 FR6000 はクレードルに正しく挿入されていないか、電源に接続されていません。充電器/クレードルに電源が入っていません。
オレンジの遅い点滅	FR6000 は充電中です。
グリーンの点灯	充電が完了しています。 注: バッテリーが FR6000 に初めて挿入される場合、バッテリー電源が少なかったり、バッテリーが完全に挿入されていないと、LED はオレンジに点滅します。
オレンジの早い点滅	バッテリーが過温度の状態です。
レッドの早い点滅	充電エラー、たとえば、 <ul style="list-style-type: none"> • 温度が高過ぎるか低過ぎます。 • 充電時間が長過ぎて完了していない(通常 8 時間)。
オレンジのシングル点滅(装置がオンの場合)	バッテリーが消耗しています。
無線ステータス LED	
グリーンの遅い点滅	電源が入った無線デバイスはすべてデータを送受信できます。
レッドの遅い点滅	電源が入った無線デバイスはデータを送受信できません。
オフ	無線はすべてオフです。

✓注 スキャン/デコーディングの詳細については、[42 ページのデータの取得](#) を参照してください。

FR6000 をリセットする

リセット機能はコールド・ブートです。コールド・ブートは FR6000 を再起動し、クロックもリセットします。フラッシュメモリまたはメモ리카ードに保存されたデータは消えません。

コールド・ブートを実行する

デバイスをリブートするには、リセット・ボタンを押してください。

FR6000 をウェークアップする

モバイル・コンピュータをサスペンド・モードに設定していた場合に、ウェークアップの条件はそのコンピュータをウェークアップするアクションを定義します。モバイル・コンピュータは電源ボタンを押すか、コントロールパネルのタイムアウト設定により自動的にサスペンド・モードになります。これらの設定は構成可能であり、[表 2-7](#) に示す工場出荷時のデフォルト設定は変更または更新の対象になります。

表 2-7 ウェークアップのデフォルト設定

ウェークアップの条件	電源ボタン	自動タイムアウト
AC 電源を接続します。	いいえ	はい
モバイル・コンピュータをクレードルに接続します。	いいえ	はい
モバイル・コンピュータをクレードルから外します。	いいえ	はい
モバイル・コンピュータを USB デバイスに接続します。	いいえ	はい
モバイル・コンピュータを USB デバイスから外します。	いいえ	はい
スキャントリガを押します。	いいえ	はい
画面にタッチします。	いいえ	いいえ
オーディオ・ジャック	いいえ	いいえ
オーディオ・ボタン	いいえ	いいえ
Bluetooth通信	はい	はい

FR6000 をロックする

デバイスの使用を防ぐには、デバイスのロック機能を使用してください。ロックされると、FR6000 は画面またはキーボードの入力に応答しません。

デバイスをロックするには、**デバイスのロック解除**アイコンをタップします。アイコンの表示がロックに変更されます。



図 2-10 デバイスのロック/デバイスのロック解除

デバイスをロック解除し自由に使用するには、**ロック解除**をタップします。

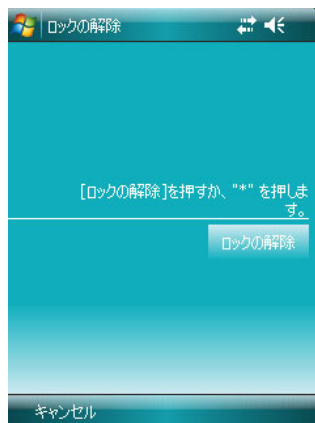


図 2-11 デバイスのロック解除ウィンドウ

ロック解除ウィンドウで**ロック解除**をタップします。

数値キーパッド の設定

数値キーパッドは 26 文字のアルファベット(A-Z、大文字および小文字)、数値(0-9)および関連文字で構成されています。このキーパッドは、特定の文字を作成したりアクションを実行する際に押す変更キーを示すため色分けされています。キーパッドのデフォルトはアルファベットで小文字を作成します。キーおよびボタンの説明については、別マニュアル(Japanese IMM Spec.doc)を参照してくださいを参照してください。

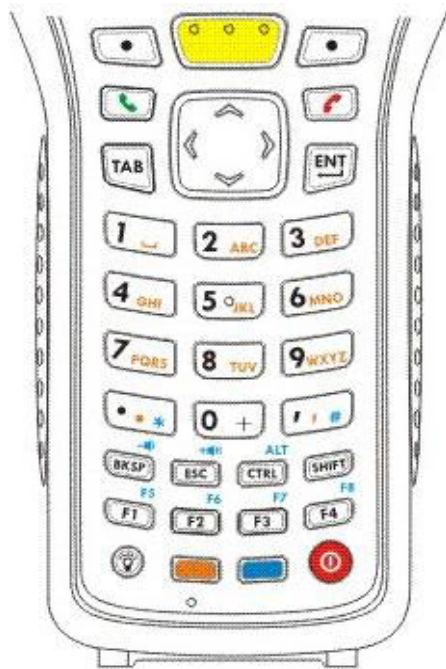


図 2-12 FR6000 シリーズ数値キーパッド

表 2-8 数値キーパッドの説明














キー	アクション
ブルー・キー 	アプリケーションを立ち上げます(ブルーのキーパッドに表示)。 <ul style="list-style-type: none"> このモードを一時的に有効にするには 1 度ブルー・キー を押してから別のキーを押します。すると 2 つ目のキーを押すまで、画面下部に以下のアイコンが表示されます。  このモードをロックするにはブルー・キーを 2 度押します。すると、画面下部に以下のアイコンが表示されます。  ロック解除するには 3 度目にブルー・キーを押します。 ブルーキーを押し続けつつキー・シーケンスを選択すると、このモードを 1 時的に有効にします。すると キーを押し続けている限り、画面下部に以下のアイコンが表示されます。 
オレンジ・キー 	二次層のキャラクタとアクション(オレンジのキーパッドに表示)にアクセスします。 <ul style="list-style-type: none"> このモードをロックするにはオレンジ・キーを 1 度押します。すると、画面下部に以下のアイコンが表示されます。  ロック解除するにはもう 1 度オレンジ・キーを押します。
トーク/エンド 	トーク(グリーン・フォン): フォーン・キーパッドのウィンドウを表示したり、電話番号にダイヤルする(フォーン・キーパッドのウィンドウから)場合に押します。 エンド(レッド・フォン): フォーン・キーパッドのウィンドウからダイヤリングを停止したり、コールを終了する場合に押します FR6074 および 6076FR70のみ機能します。
ソフト・キー 	コマンドまたは画面のそのコマンド上のメニューにアクセスします。
バックライト 	ディスプレイのバックライトのオンオフを切り換えます。
バックスペース 	バックスペースを作成します。

表 2-8 数値キーパッドの説明(続き)

<p>シフト</p> 	<p>英文字の状態を小文字から大文字へ変更します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● このモードを一時的に有効にするにはシフト・キー を押してから別のキーを押します。すると 2 つ目のキーを押すまで、画面下部に以下のアイコンが表示されます。↑ ● Shift キーを押し続けつつキー・シーケンスを選択すると、このモードを 1 時的に有効にします。すると キーを押し続けている限り、画面下部に以下のアイコンが表示されます。↑ ● このモードをロックするにはシフト・キーを 2 度押します。すると、画面下部に以下のアイコンが表示されます。↑ ● ロック解除するには 3 度目にシフト・キーを押します。
<p>実行</p> 	<p>選択した項目または機能を実行します。</p>
<p>スター</p> 	<p>アスタリスクを表示するには、最初にブルー・キーを押す必要があります。</p>

機能ボタン

FR6000 シリーズのボタンは特定の機能を実行します。



図 2-13 機能ボタン

1. スキャン・ボタン
2. 電源ボタン

- **電源:**FR6000 の画面のオンオフをするには赤い電源ボタンを押してください。画面がオフになると、FR6000 はサスペンド・モードになります。詳細については、[18 ページの FR6000 に電源を入れる](#) を参照してください。デバイスがコールドブートを実行するようリポートするには、リセットボタンを押してください。[36 ページの FR6000 をリセットする](#) を参照してください。
- **スキャン:**押すと、バーコードをスキャンします。[42 ページのデータキャプチャ](#)を参照してください。

スタイラス

項目を選択して情報を入力するには、FR6000 のスタイラスを使用してください。スタイラスはマウスとして機能します。

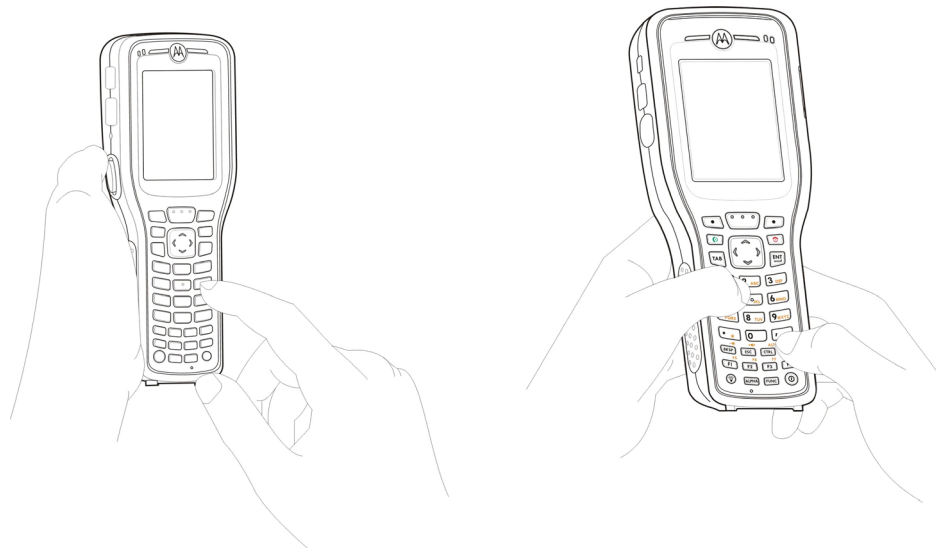
- **タップ:**スタイラスを使用して画面を 1 度タッチして、オプションのボタンを押しメニュー項目を開きます。
- **タップおよびホールド:**スタイラスを使用して項目をタップしたままにすると、その項目で利用可能なアクションのリストが表示されます。表示されるポップアップメニューで、実行するアクションをタップします。
- **ドラッグ:**スタイラスを画面上でホールドしつつ、画面内をドラッグしてテキストを選択します。複数の項目を選択するにはリストをドラッグします。



注意 画面が損傷しないよう、モトローラ専用のスタイラス以外でのデバイスを使用しないでください。

データを入力する

図 2-14 で示されている様に、キーパッドには片手または両手でデータを入力します。



片手で入力

両手で入力

図 2-14 キーパッドでデータを入力する

データの取り込み

FR6000 はレーザー・スキャナーによりデータを取り込みます。

- ✓注 データを取り込むには、スキャンが有効なアプリケーションを FR6000 にインストールする必要があります。サンプルのスキャン・アプリケーションをモトローラ・サポートの以下のサイトからダウンロードできます。
<http://www.motorola.com/enterprisemobility/contactsupport>

スキャンング

レーザー・スキャナが組み込まれた FR6000 には、以下の機能が搭載されています。

- 最も普及している一次元バーコード、ポスタルコードを含む様々なバーコード記号の読み取り
- 調整のいらぬ簡単なオートフォーカス機能

スキャンングで考慮すべき事項

通常、スキャンングにより簡単に対象物を照準し、スキャンして読み込み します。少し練習するだけで素早くマスター できます。

ただし、スキャンングのパフォーマンスを最適化するには以下を考慮してください。

- 有効読取距離

バーコードを読み取るには、FR6000の有効読取距離内で実行します。この距離は、読み込むバーコードの密度により、それぞれ異なります。

有効読取距離内でスキニングすると、すばやく安定した読取が可能です。近過ぎたり遠過ぎたりすると、読取難しい事があります。バーコードがスキャンされるよう適切な有効読取距離を検出するにはスキャナーを近づけたり、遠ざけたりします。

- 読取角度

素早く読取をする上でスキニングの読取角度は重要です。レーザー・ビームがバーコードからスキャナーに直接反射されると、読取の反応が悪い場合があります

この現象を防ぐためには、ビームが直接反射しないようにバーコードをスキャンします。ただし、あまりにも鋭角にはスキャン角度を変更しないでください。読取角度を試して、最も読取やすい角度を把握してください。

- 大きなバーコードの場合、FR6000 までの距離は長めに保持してください。
- バーが密接している記号の場合、FR6000 を近づけてください。

✓ **注** スキニング手順はアプリケーションおよび FR6000 の構成により異なります。アプリケーションは前述とは異なるスキニング手順を使用する場合があります。

1. スキャンが有効なアプリケーションが FR6000 シリーズにロードされていることを確認します。
2. スキャン・ウィンドウをバーコードに向けます。

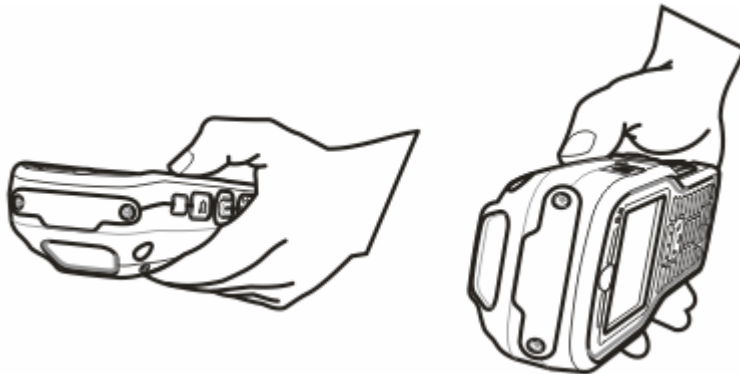


図 2-15 スキニング

3. スキャン・ボタンを押します。赤いスキャンビームがバーコード全体をカバーしていることを確認します。スキャン/デコード LED は赤に点灯してスキニング中であることを示します。次にグリーンに点灯して、デフォルトでピープ音を発生しバーコードが正しくデコーディングされたことを示します。

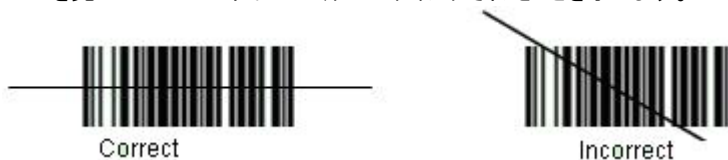


図 2-16 リニア・スキャナーの照準パターン

4. スキャン・ボタンを離します。

IrDa(赤外線)を使用する

Microsoft Windows のモバイル・プログラム(メッセージングを除く)および画像とビデオでは、赤外線またはブルートゥースを使用してファイルを交換できます。

- ✓**注** ファイル・エクスプローラウィンドウからファイル(フォルダではなく)をビームできます。
送信する項目をタップしたまま、ポップアップメニューから**ファイルのビーム**をタップします。

ファイルを別の IrDA デバイスで交換する前に、最初にビーム機能を有効にしてください

ビーム機能を有効にするには、以下を実行します。

1. スタート > 設定 > 接続タブ > ビーム・アイコンの順にタップします。
2. 着信ビームをすべて受信するチェックボックスをタップします。

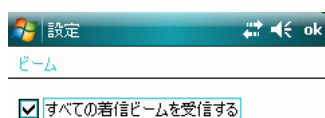


表 2-17 ビーム・ウィンドウ

3. **Ok** をタップします

赤外線接続

赤外線を使用すれば、ショートレンジ内で、お使いの FR6000 と別の IrDA デバイス間でファイルを交換できます。

IR 接続でファイルを交換する

FR6000 および別のデバイスの IrDA 機能が有効であることを確認してください。IrDA 接続によりファイルを送信するには、以下を実行します。

1. 送信リストに設定したい項目を作成したプログラムに切り換えます。

- ✓**注** IrDA ウィンドウをカバーしたりブロックしないでください。

2. デバイス間に障害物を入れず、ショートレンジ内で、FR6000 の IrDA ポートを IrDA デバイスの IrDA ポートに向けます。

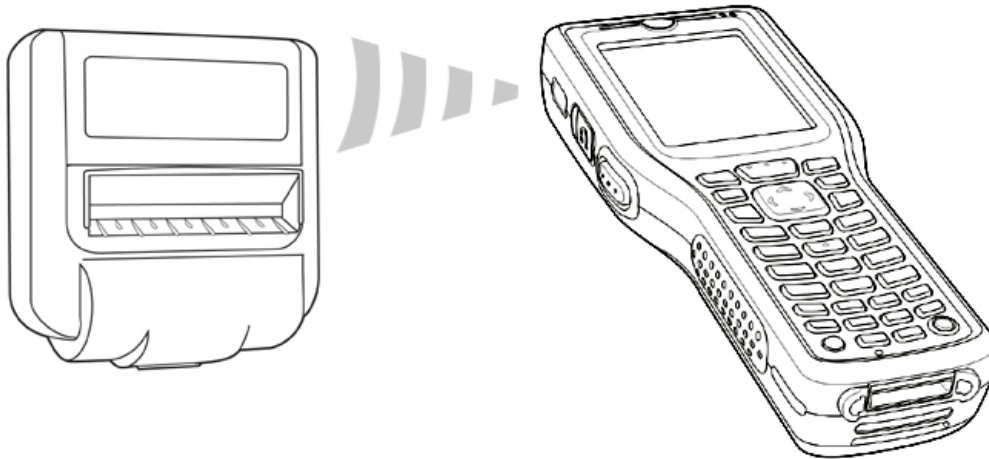


図 2-18 FR6000 シリーズを IrDA デバイスに向ける

3. 項目をタップしたまま、ポップアップメニューのビーム [項目の種類] をタップします。
4. ファイルを送信したいデバイスをタップします。



表 2-19 ビーム接続

IrDA 接続によりファイルを受信するには、以下を実行します。

1. 間に障害物を入れず、ショートレンジ内で FR6000 の IrDA ポートを IrDA デバイスの IrDA ポートに向けます。
2. 別のデバイス上で、ファイルを FR6000 に送信します。
3. データを受信するダイアログボックスが表示されたら、はいをタップします。

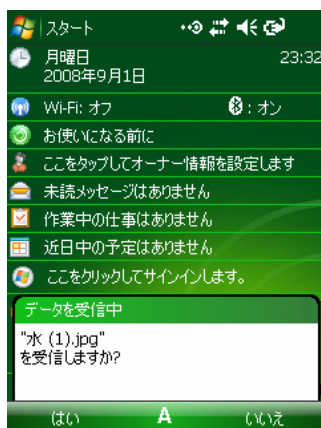


表 2-20 ファイルの受信

第 3 章ブルートゥースを使用する

はじめに

ブルートゥース搭載のデバイスは、周波数ホッピング方式(FHSS)無線(RF)を使用して配線なしで通信し、2.4 GHz 帯域(802.15.1)でデータを送受信します。ブルートゥースのワイヤレス技術は、ショートレンジ通信(10メートル)および低電力消費に特化して設計されています。

ブルートゥース機能搭載の FR6000 は、モバイル・コンピュータなどの別のブルートゥース対応のデバイスと情報(たとえば、ファイル、アポイントメント、タスク)をやりとりできます。

適応型周波数ホッピング

適応型周波数ホッピング(AFH: Adaptive Frequency Hopping)は、固定周波数干渉を回避する方式で、Bluetooth 音声通信に使用することができます。AFH を機能させるためには、piconet (Bluetooth ネットワーク)内のすべてのデバイスが AFH に対応している必要があります。デバイスの接続時および検出時に AFH は行われません。重要な 802.11b 通信中は、Bluetooth 接続を確立したり、検出を行わないでください。Bluetooth の AFH は、次の 4 つの主なセクションから構成されています。

- チャンネル分類 - チャンネルごとに干渉を検出する方式、または定義済みのチャンネル マスクで干渉を検出する方式です。
- リンク管理 - AFH 情報を調整して、Bluetooth ネットワーク全体に AFH 情報を配信します。
- ホップ シーケンス修正 - ホッピング チャンネル数を選択的に削減することで干渉を回避します。
- チャンネル メンテナンス - 定期的にチャンネルを再評価する方法です。

AFH が有効な場合、Bluetooth 無線は 802.11b 高速チャンネルを通るのではなく、「ホッピング」します。AFH の共存性により、Motorola 製のモバイル コンピュータはあらゆるインフラストラクチャで動作することができます。

✓注 高速な 802.11bレートで動作する場合、ブルートゥースのワイヤレス通信を実行するのはお勧めしません。

セキュリティ

現在のブルートゥース仕様は、リンクレベルにおけるセキュリティを定義します。アプリケーションレベルのセキュリティは指定されていません。そのためアプリケーション開発者は彼らの特定のニーズを満たすセキュリティ・メカニズムを定義できます。リンクレベルのセキュリティはユーザではなく、デバイス間で発生します。一方、アプリケーションレベルのセキュリティはユーザごとに実装されます。ブルートゥース仕様はデバイスを認証し、必要に応じて、デバイス間のリンク上で流れるデータを暗号化するためのセキュリティ・アルゴリズムとプロシージャを定義します。デバイスの認証はブルートゥースの必須機能です。リンク暗号化はオプションです。

デバイスを認証しリンク・キーを作成する初期化キーを作成することで、ブルートゥース・デバイスのペアリングが実現します。ペアにするデバイスに共通の PIN 番号を入力すると、初期化キーが生成されます。PIN 番号は大気上に送信されません。デフォルトでは、ブルートゥース・スタックは、キーが要求されると、キーなしで応答します（キーのリクエスト・イベントにはユーザが対応）。ブルートゥース・デバイスはチャレンジ・レスポンス方式で認証されます。ブルートゥースでは、セキュリティと暗号化に使用する別の 128 ビット・キー作成用の番号またはパスキーが設定されます。暗号化キーはペアにするデバイスを認証するためのリンク・キーから取得します。また、ブルートゥース無線がもたらす迅速な周波数ホッピングとレンジ制限が、長距離の傍受を困難にしていることが注目されます。

以下を推奨します。

- 安全な環境でペアリングを実行すること
- PIN コードを非公開にして、PIN コードをモバイル・コンピュータに保存しないこと
- アプリケーション・レベルのセキュリティを実装すること

ブルートゥース機能のオン/オフを切り換える

節電したり、無線制限があるエリア（例：飛行機）に入る場合は、ブルートゥース機能をオフにしてください。無線がオフの場合、別のブルートゥース・デバイスは FR6000 を検出したり、接続できません。別のブルートゥース・デバイスと情報をやりとりするにはブルートゥース機能をオンにしてください（エリア内）。

✓ **注** バッテリーの寿命を最大限にするには、使用していない無線はオフにしてください。

Bluetoothを無効にする

Bluetoothを無効にするには、Bluetoothアイコンをタップしてワイヤレス・マネージャを入力します。オンをオフに切り換えるにはBluetoothアイコンをタップします。BluetoothアイコンはグレイアウトしてBluetoothが無効になっていることを示します。



図 3-1 Bluetoothの無効化

Bluetoothを有効にする

Bluetoothを有効にするには、Bluetoothアイコンをタップしてワイヤレス・マネージャを入力します。オフをオンに切り換えるにはBluetoothアイコンをタップします。BluetoothアイコンはグレイアウトからアクティブになりBluetoothが有効になっていることを示します。



図 3-2 Bluetoothの有効化

新規デバイスの接続

FR6000 は接続したデバイスと情報を交換できます。

エリア内でBluetooth・デバイスを見つけるには、以下を実行します。

1. Bluetooth・デバイスが両方のデバイスで有効であることを確認します。
2. 検出対象のBluetooth・デバイスが検出可能で接続可能モードであることを確認します。
3. 2つのデバイスが相互に10メートル以内にあることを確認します。

4. ブルートゥース・アイコンをタップして、ワイヤレス・マネージャを開きます。次にメニューをタップします。

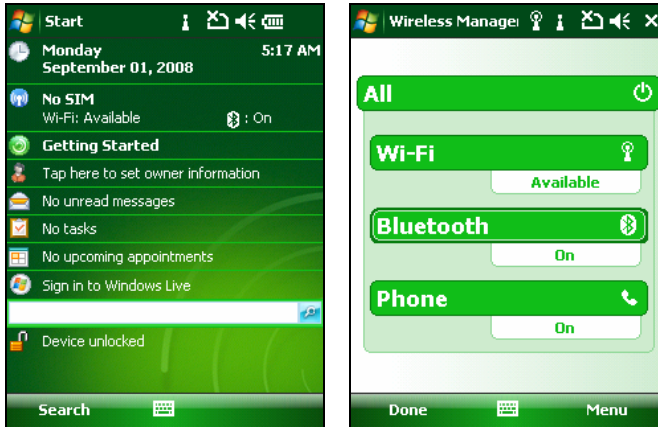


図 3-3 ブルートゥース・ウィンドウの入力

5. ブルートゥースの設定をタップして、設定ウィンドウを入力します。次に、**新規デバイスの追加**をタップしてブルートゥース・デバイスを検索します。



図 3-4 新規デバイス・ウィンドウの追加

6. デバイスが表示されたら、それを選択してから**次へ**をタップします。
7. パスコードを入力して別のデバイスとのセキュアな接続を確立します。一方、ターゲットのデバイスにはパスコードを入力します。

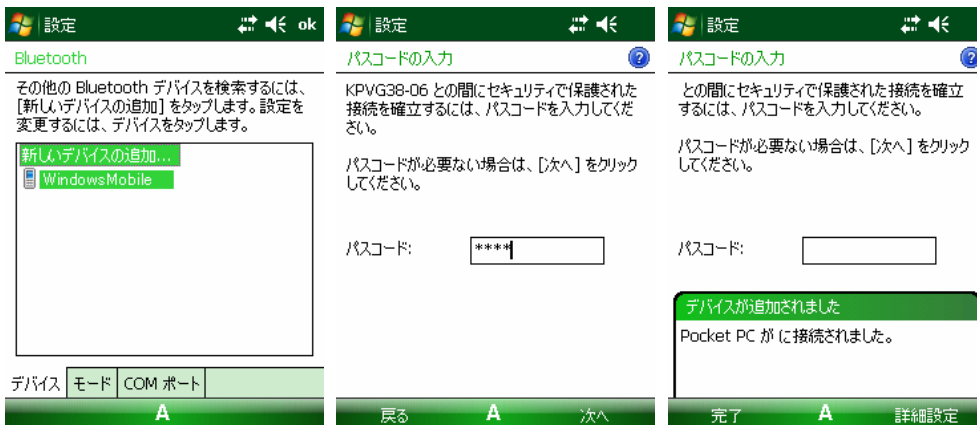


図 3-5 デバイス・ダイアログボックスの検出x

ファイル転送サービス

FR6000 と別のBluetooth搭載のデバイス間でファイルを転送するには、FR6000 が検出でき、接続可能であることを確認します。

✓ **注** PIN を必要としないデバイスもあります。これはデバイスの認証により異なります。

1. 以下の様に 1 つのファイルを選択します。**メニュー** > **画像のビーム**の順にタップします。



図 3-6 ファイルの選択

2. 次に送信先デバイスを選択して、完了が表示されるまで待機します。

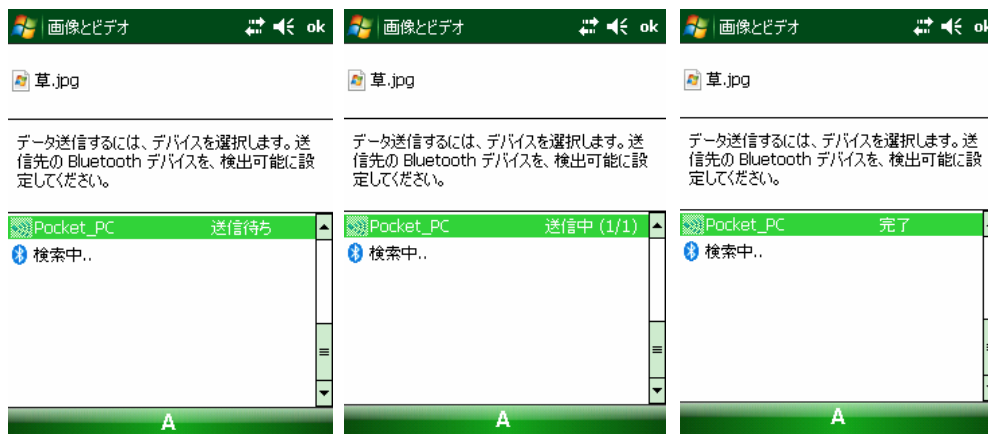


図 3-7 ファイル転送ウィンドウ

Bluetoothの設定

アプリケーションの操作を設定するには、**Bluetoothの設定**ウィンドウを使用します。**メニュー** > **設定**の順にタップします。**Bluetoothの設定**ウィンドウが表示されます。

デバイス情報タブ

新規デバイスを追加し接続するにはデバイス情報タブを使用します。**新規デバイスの接続**を参照してください。

モード・タブ

FR6000 のブルートゥース接続モードを設定するには、モード・タブを使用します。

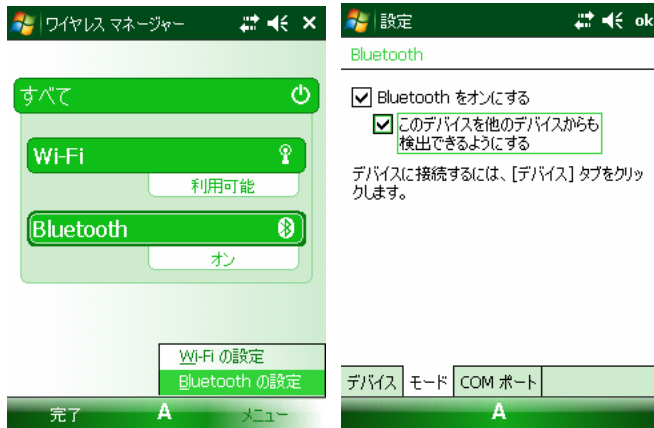


図 3-8 エクスプローラの設定 - デバイス情報タブ

1. 新規デバイスを接続する前に、ブルートゥースをオンにします。
2. 別のデバイスに FR6000 を検出させる場合は、「このデバイスを他のデバイスにも検出させる」チェックボックスを選択します。

COM ポート・タブ

接続したデバイスに特定の外部ポートを設定するには **COM ポート**・タブを使用します。

1. **新規外部ポート**をタップします。

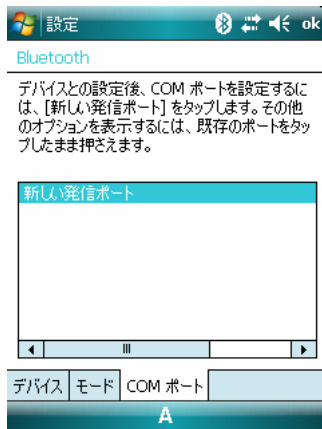


図 3-9 COM ポートの追加

2. 追加するデバイスを選択してから、次へをタップします。

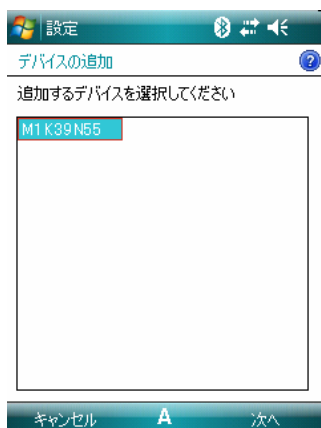


図 3-10 デバイスの選択

3. ドロップダウンリストからポートを選択します。次に完了をタップします。

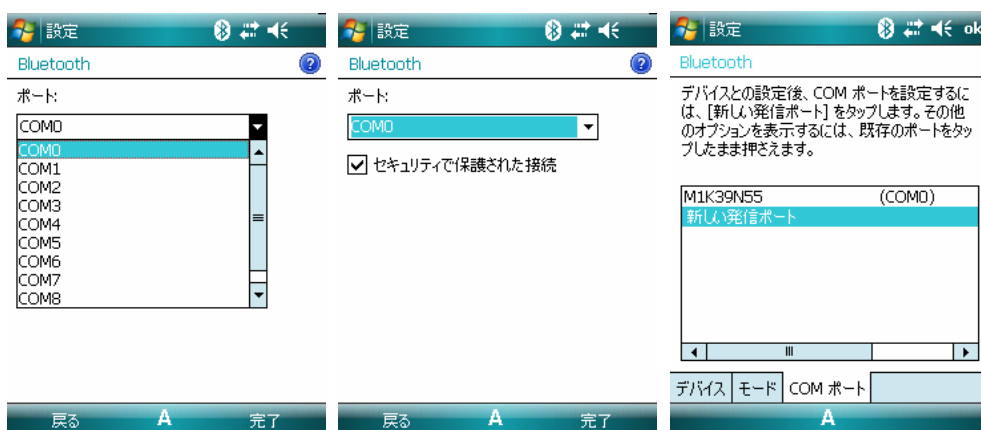


図 3-11 デバイスのポートの選択

第 4 章 ActiveSync

はじめに

様々なホスト・デバイスと通信するには、MicrosoftのActiveSyncを使用します。モバイル・コンピュータまたはホスト・コンピュータで変更した内容は、同期終了後に両方の場所に表示されます。

ActiveSync ソフトウェアには以下の機能が搭載されています。

- ホスト・コンピュータ上でモバイル・コンピュータ対応のホスト・アプリケーションと連携します。ActiveSync はモバイル・コンピュータからのデータを複製するので、ホスト・アプリケーションはモバイル・コンピュータでデータを表示、入力および修正できます。
- モバイル・コンピュータとホスト・コンピュータ間でファイルを同期化し、ファイルを正しい形式に変換します。
- モバイル・コンピュータに保存されたデータをバックアップします。同期化はデータを常に安全かつ最新にするためのワンステップです。
- モバイル・コンピュータとホスト・コンピュータ間でファイルをコピー（同期化ではなく）します。
- 同期化モード、たとえば、モバイル・コンピュータがホスト・コンピュータに接続されている間に連続して同期化する、あるいはコマンドで同期化するのみを選択して同期化の実行時間を管理します。
- 同期化する情報のタイプを選択し、同期化するデータ量を管理します。

ActiveSync をインストールする

ホスト・コンピュータに ActiveSync をインストールするには、Microsoft のウェブサイト、<http://www.microsoft.com> からバージョン 4.5 以降をダウンロードしてください。ActiveSync ソフトウェアに同梱のインストール説明書を参照してください。

モバイル・コンピュータの設定

モバイル・コンピュータは USB 接続で通信できるように設定することができます。[第 5 章アクセサリ](#)ではモバイル・コンピュータに使用する際のアクセサリの設定とケーブル接続について説明します。モバイル・コンピュータの通信設定は、ActiveSync で使用する通信設定と一致する必要があります。

1. モバイル・コンピュータで、**スタート > プログラム > ActiveSync** アイコンの順にタップします。
ActiveSync ウィンドウが表示されます。



図 4-1 ActiveSync ウィンドウ

2. **メニュー > 接続**の順にタップします。
3. ドロップダウンリストから接続タイプを選択します。
4. **OK** をタップして接続ウィンドウを閉じます。**OK** をタップして **ActiveSync** ウィンドウを閉じます。
5. ホスト・コンピュータに ActiveSync をインストールして、パートナーシップを設定します。

ホスト・コンピュータに ActiveSync を接続する

ActiveSync をスタートするには、以下を実行します。

1. ホスト・コンピュータで **スタート > プログラム > Microsoft ActiveSync** の順に選択します。
ActiveSync ウィンドウが表示されます。

✓**注** Microsoft はモバイル・コンピュータを接続する前に、ホスト・コンピュータに ActiveSync をインストールすることを推奨しています。



図 4-2 ActiveSync ウィンドウ

✓**注** 各モバイル・コンピュータには一意のデバイス名を割り当ててください。複数のモバイル・コンピュータを同一名で同期化しないでください。

2. **ActiveSync** ウィンドウで、**ファイル > 接続設定**の順に選択します。**接続設定**ウィンドウが表示されます。

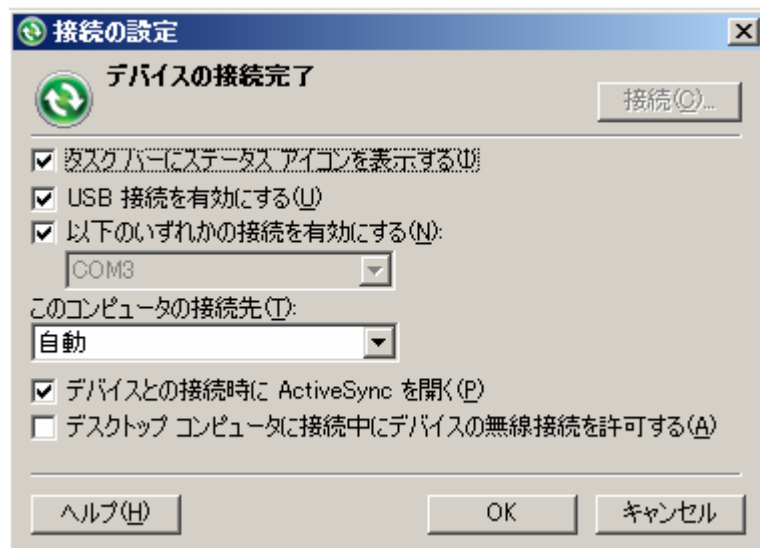


図 4-3 接続設定ウィンドウ

3. 使用する接続タイプに適切なチェックボックスを選択します。
4. **タスクバーにステータス・アイコンを表示**チェックボックスを選択します。
5. **OK** を選択して、変更内容を保存します。

Windows Mobile 6 デバイスとの同期化

- ✓ **注** Windows Mobile 6 搭載のモバイル・コンピュータがホスト・コンピュータに接続され、ActiveSync 接続が確立すると、WLAN 無線(適用される場合)は無効になります。これは Microsoft のセキュリティ機能で同時に 2 つのネットワークに接続されるのを防ぎます。

Windows Mobile 6 デバイスと同期化するには、以下を実行してください。

1. **接続**ウィンドウがホスト・コンピュータに表示されない場合、**スタート > 全プログラム > Microsoft ActiveSync** の順に選択します。

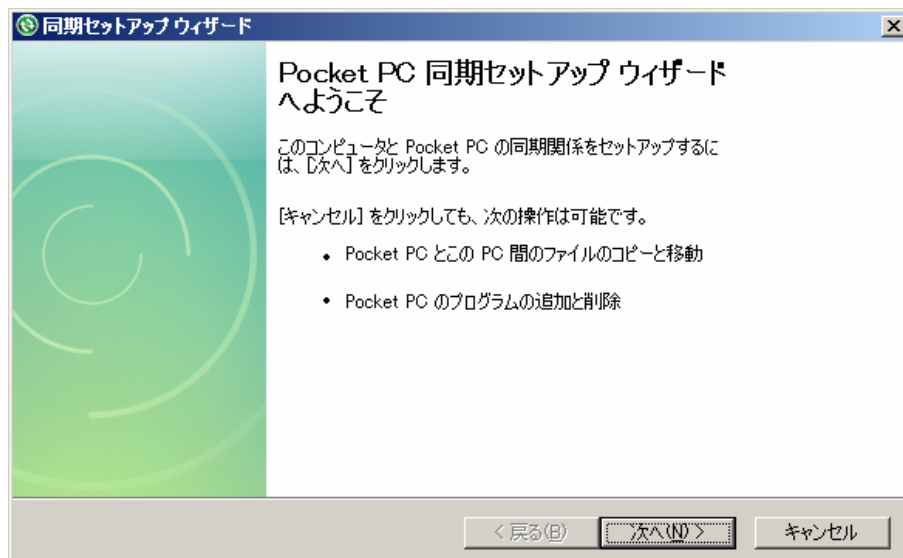


図 4-4 同期化設定ウィザード・ウィンドウ

2. 次へをクリックします。

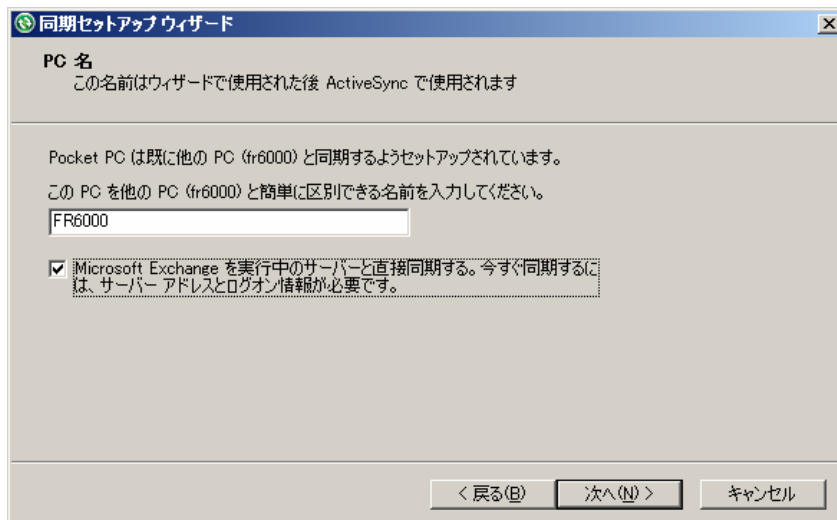


図 4-5 サーバ・ウィンドウとの直接の同期化

3. Microsoft Exchange を稼動しているサーバと同期化するチェックボックスを選択します。

4. 次へをクリックします。

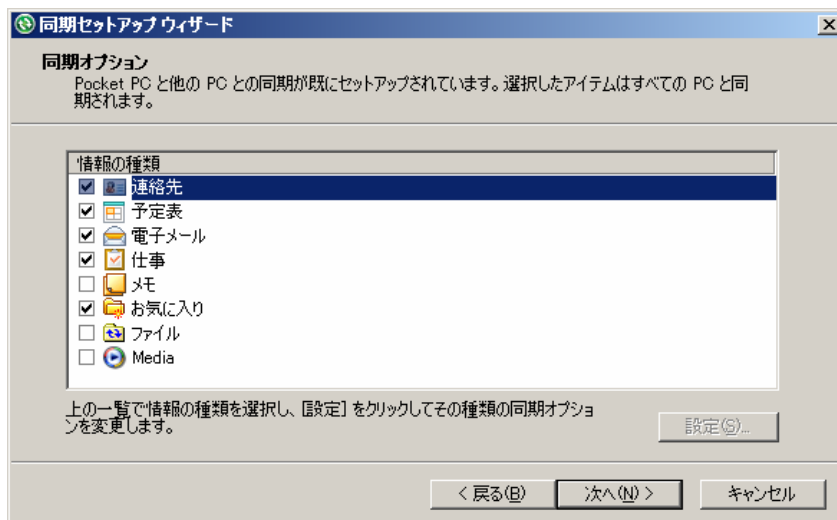


図 4-6 同期化オプション・ウィンドウ

5. 適切な設定を選択して、次へをクリックします。

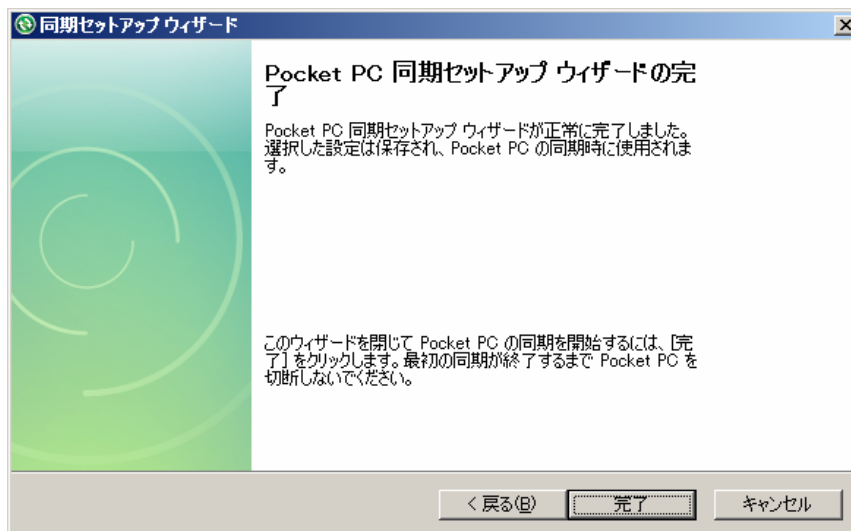


図 4-7 ウィザード完了ウィンドウ

6. 完了をクリックします。

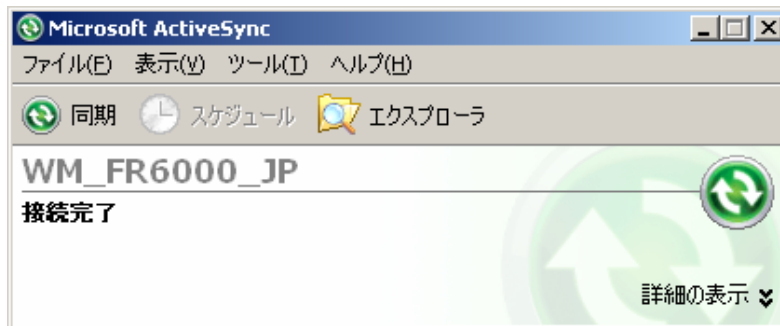


図 4-8 ActiveSync 接続ウィンドウ

最初の同期化時には、モバイル・コンピュータに保存された情報はホスト・コンピュータにコピーされます。コピーが完了し全データが同期化されると、モバイル・コンピュータはホスト・コンピュータから接続解除されます。

ActiveSync, の使用方法の詳細については、ホスト・コンピュータで ActiveSync をスタートし、ActiveSync ヘルプを参照してください。

- ✓注 最初の ActiveSync の操作は、USBでの直接接続により実行する必要があります。
Windows Mobile はコールドブート後にパートナーシップの情報を保持します。

ActiveSync の使用方法の詳細については、ホスト・コンピュータで ActiveSync をスタートし、ActiveSync ヘルプを参照してください。

第 5 章 アクセサリ

はじめに

下記の FR6000 のアクセサリは、様々な製品サポート機能を提供します。

- シングル・スロット USB/シリアル・クレードル - FR6000 のメイン・バッテリーおよびスペア・バッテリーを充電します。USB 接続を介してホスト・コンピュータにより FR6000 を同期化します。
- 4 スロット・バッテリー充電器 - スペア標準バッテリーを充電します。
- 車載充電ケーブル - 車のシガレット・ライターに接続して、FR6000 を充電します。
- 充電専用ケーブル - FR6000 に電源を供給します。
- USB 充電ケーブル - USB 接続によりホスト・コンピュータと FR6000 を通信します。
- ヘッドセット - 雑音の多い環境で使用します。

シングル・スロット USB/シリアル・クレードル

このセクションではシングル・スロット USB/シリアル・クレードルと FR6000 の使用方法について説明します。

シングル・スロット USB/シリアル・クレードル:

- FR6000 を動作するための 5.4 VDC 電源を供給します。
- FR6000 とホスト・コンピュータ間の情報を同期化します。
- FR6000 のバッテリーを充電します。
- スペア・バッテリーを充電します。

FR6000 のバッテリーを充電する

クレードルを電源に接続します。FR6000 をスロットに挿入して充電を始めます。

- ✓注 FR6000 をクレードルに挿入する前に、アダプタ・モジュールをクレードルに挿入してください。
同梱の専用カップシールを注意書きにしたがって添付してからお使いください。

*最初にお使いになる前には、この製品を 24 時間充電して内蔵バッテリーをフル充電されることをお勧めします。

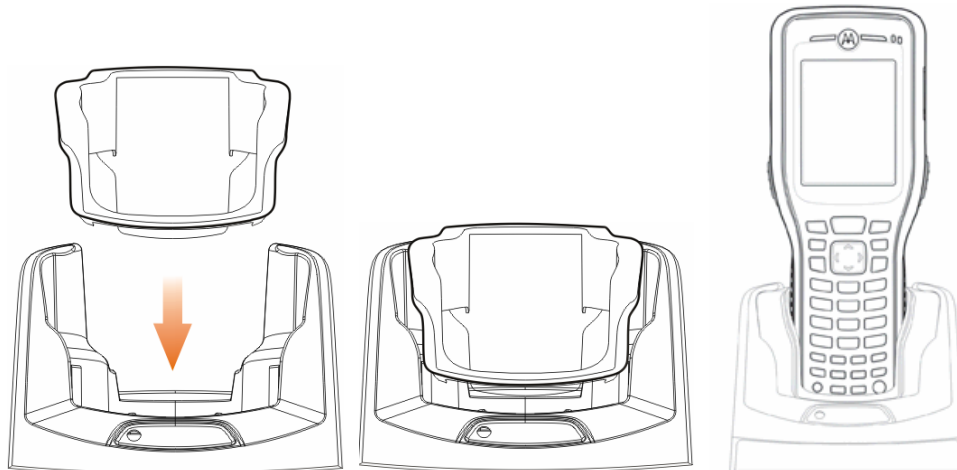
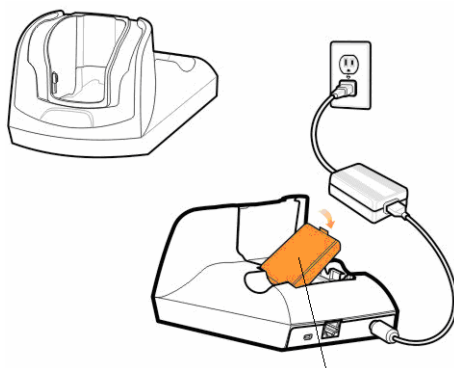


図 5-1 FR6000 のバッテリーの充電

スペア・バッテリーを充電する



スペア・バッテリー

図 5-2 スペア・バッテリーの充電

バッテリーの充電インジケータ

シングル・スロット USB/シリアル・クレードルは FR6000 のメイン・バッテリーおよびスペア・バッテリーを同時に充電します。

FR6000 のチャージ LED は FR6000 のバッテリー充電のステータスを示します。充電のステータス表示については [18 ページの表 1-2](#) を参照してください。

クレードルのスペア・バッテリー・チャージング LED は、クレードルのスペア・バッテリーの充電ステータスを示します。充電のステータスの表示については、[表 5-1](#) を参照してください。

3600 mAh バッテリーは約 6 時間でフル充電されます。

充電温度

0°C ~ 45°C の温度でバッテリーを充電してください。充電は FR6000 によりインテリジェントに調節されます。

短時間で充電できるように、FR6000 またはアクセサリはバッテリーの充電を交互に有効/無効にして、バッテリーを基準温度内に保持します。FR6000 またはアクセサリは、異常温度による充電の無効を LED で示します。18 ページの表 1-2 および表 5-1 を参照してください。

表 5-1 スペア・バッテリー LED 充電インジケータ

スペア・バッテリー LED (on cradle)	説明
オフ	バッテリーは充電されていません。バッテリーはクレードルに正しく挿入されていません。クレードルに電源が入っていません。
オレンジの遅い点滅	スペア・バッテリーが充電されています。
オレンジの点灯	充電が完了しています。
レッドの早い点滅	充電エラー

4 スロット・バッテリー充電器

このセクションでは 最大で 4 つの FR6000 のバッテリーを充電する 4 スロット・バッテリー充電器の使用方法について説明します。

FR6000 バッテリー アダプタ の取り付け

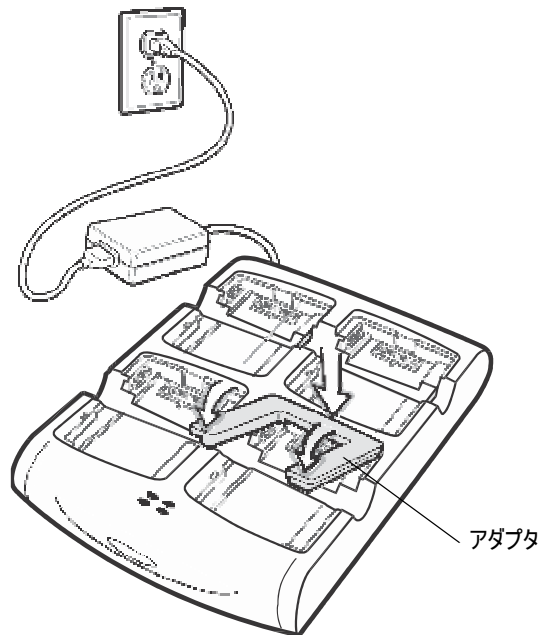


図 5-3 FR6000 のバッテリー アダプタ の取り付け

スペア・バッテリーの充電

1. 充電器を電源に接続します。
2. スペア・バッテリーをスペア・バッテリーの充電器に挿入して、バッテリーをそっと押し込み正しくつなげてください。

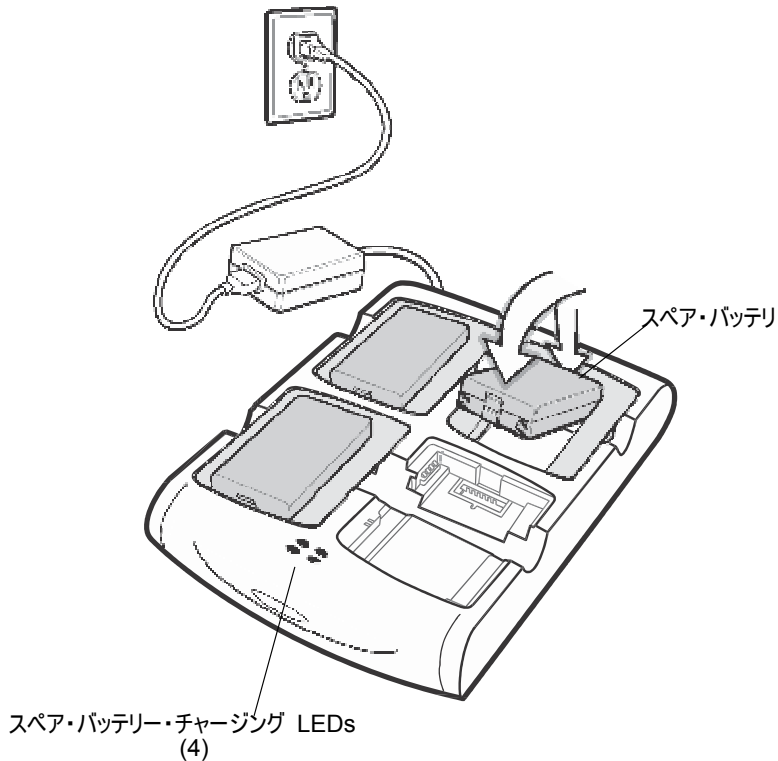


図 5-4 4 スロット・バッテリー充電器

バッテリーの充電インジゲータ

充電器には各バッテリーが十分に充電されていることを示すオレンジの LED が付いています。充電のステータスの表示については、[表 5-1](#) を参照してください。3600 mAh バッテリーは約 6 時間でフル充電されます。

充電温度

0°C ~ 45°C の温度でバッテリーを充電してください。充電は FR6000 によりインテリジェントに調節されます。

短時間で充電できるように、充電器はバッテリーの充電を交互に有効/無効にして、バッテリーを基準温度内に保持します。充電器は、異常温度による充電の無効を LED で示します。[表 5-1](#) を参照してください。

表 5-2 スペア・バッテリー LED 充電インジゲータ

LED	説明
オフ	スロットにスペア・バッテリーはありません。バッテリーは充電されていません。バッテリーは充電器に正しく挿入されていません。充電器に電源が入っていません。
オレンジの遅い点滅	スペア・バッテリーが充電されています。
オレンジの点灯	充電が完了しています。

ヘッドセット

Voice-Over-IP (VOIP)または音声再生アプリケーション、テレフォニー・アプリケーションを介して通信するには、ヘッドセットを使用してください。ヘッドセットを接続するには、カバーを FR6000 の上部にあるヘッドセット・ジャックから取り外して、ヘッドセットのコネクタを挿入してください。対応するヘッドセットについては、モトローラ代理店に連絡してください。

最適なパフォーマンスを得るには、2.5mm ジャックヘッドセット、p/n 90-17C28-001R を使用されることをお勧めします。

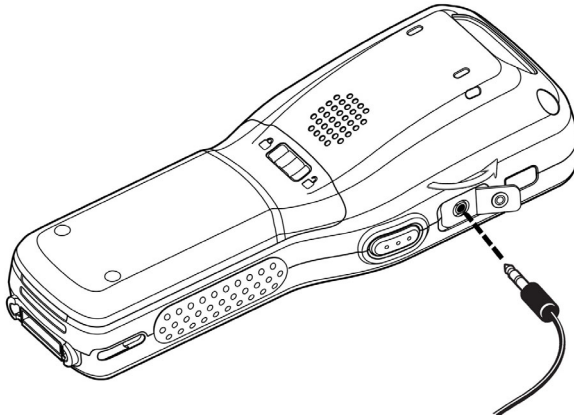


図 5-5 ヘッドセットの接続

ケーブル

このセクションではケーブルの設定および使用方法について説明します。ケーブルには様々な接続機能があります。

以下の通信/充電ケーブルを利用できます。

- USB クライアント充電ケーブル(電源用標準 A コネクタ)
- 車載(シガーソケット)充電ケーブル
- 充電専用ケーブル

通信/充電ケーブル:

- モトローラ標準の電源と共に使用すると FR6000 を稼動し充電します。
- FR6000 とホスト・コンピュータ間の情報を同期化します。

バッテリーの充電と稼動能力

通信/充電ケーブルは FR6000 のバッテリーを充電し稼動させます。FR6000 のバッテリーを充電するには、以下を実行してください。

1. 通信/充電ケーブル電源入力コネクタをモトローラ標準の電源に接続します。

- FR6000 の下部を通信/充電ケーブルのコネクタ端末にスライドさせ、FR6000 にカチッと収まるまでそっと押します。FR6000 のオレンジのチャージ LED は、FR6000 のバッテリーの充電ステータスを示します。3600 mAh 標準バッテリーは約 6 時間でフル充電されます。充電のステータス表示については [18 ページの表 1-2](#) を参照してください。
- 充電が完了したら、FR6000 およびケーブルを抜きケーブルを取り外します。

LED の充電表示

FR6000 のオレンジのチャージ LED は、バッテリーの充電ステータスを示します。充電のステータス表示については [18 ページの表 1-2](#) を参照してください。

充電温度

0°C ~ 45°C の温度でバッテリーを充電してください。充電は FR6000 によりインテリジェントに調節されます。

短時間で充電できるように、FR6000 またはアクセサリはバッテリーの充電を交互に有効/無効にして、バッテリーを基準温度内に保持します。FR6000 またはアクセサリは、異常温度による充電の無効を LED で示します。[18 ページの表 1-2](#) を参照してください。

第 6 章 メンテナンスとトラブルシューティング

はじめに

この章は FR6000 のクリーニングと保管手順について説明し、FR6000 の動作面で想定される問題の解決策を提供します。

FR6000 のメンテナンス

トラブルなくご利用いただけるよう、FR6000 をお使いになる際には以下の項目にご注意ください。

- FR6000 の画面に傷を付けないでください。FR6000 をお使いになる際には、付属のスタイラスまたはタッチパネル式画面用の先端がプラスチックのペンを使用してください。FR6000 の画面の表面にボールペン、鉛筆、その他の鋭利な物を使用しないでください。

モトローラは画面プロテクタ p/n MN2800AAAPSC の使用をお勧めします。

- FR6000 のタッチパネル式画面はガラスです。FR6000 を落としたり、強い衝撃を与えないでください。
- FR6000 を極端な温度から保護してください。暑い日に車のダッシュボードに置かないでください。熱源から遠ざけてください。
- ほこりが多い場所、湿気がある場所、あるいは水気のある場所で FR6000 を保管したり使用しないでください。
- FR6000 をクリーニングするには、柔らかいレンズクロスを使用してください。FR6000 の画面の表面が汚れたら、中性洗剤等を浸した柔らかいクロスでクリーニングしてください。
- 再充電可能なバッテリーを定期的に取り替えて、バッテリー寿命および製品のパフォーマンスを最大限にしてください。バッテリーの寿命は個々の使用状態によって異なります。
- 画面プロテクタが FR6000 に適用されます。モトローラは磨耗を最小限にするためにこれを使用することをお勧めします。画面プロテクタはタッチスクリーン・ディスプレイの使い勝手および耐用性を強化します。メリットは以下の通りです。
 - かすり傷や引っ掻き傷からの保護
 - 長期間書き込み、表面は滑らかなタッチ感覚

- 優れた耐摩耗性、耐薬品性
- グレア低減
- 常にフレッシュなデバイス画面の外観
- 迅速かつ簡単な取り付け

バッテリーの安全ガイドライン

- ユニットが充電されるエリアには屑、可燃性の物質または化学物質がない状態でなければなりません。環境に配慮しなければならない場所で充電する場合は、特に注意を払う必要があります。
- ユーザガイドに記載された、バッテリーを使用、保管および充電するためのガイドラインを遵守してください。
- バッテリーを不適切に使用すると、火災、爆発または他の危険が発生する恐れがあります。
- モバイル・デバイスのバッテリーを充電するには、バッテリーおよび充電器の温度を 0 °C ~ +45 °C の間に設定する必要があります。
- 互換性のないバッテリーおよび充電器を使用しないでください。互換性のないバッテリーまたは充電器を使用すると、火災、爆発、漏電その他の危険が発生する恐れがあります。バッテリーまたは充電器の互換性についてご不明な点があれば、モバイル・エンタープライズ・モビリティ・サポートまでご連絡ください。
- 充電源として USB ポートを使用するデバイスの場合、そのデバイスは USB-IF ロゴが付いた製品または USB-IF コンプライアンス・プログラムを完了した製品にのみ接続します。
IEEE1725 条項 10.2.1 で定められた要件を満たしているバッテリーであることを示すために、バッテリーにはすべてモトローラ・ホログラムが付きます。バッテリーについては、モトローラ認証ホログラムがあるかどうかをチェックせずに使用しないでください。
- 分解したり、開けたり、つぶしたり、曲げたり、変形させたり、穴を開けたり、シュレッダーにかけたりしないでください。
- バッテリー駆動のデバイスを固い表面に落下させるとその衝撃でバッテリーが破裂する恐れがあります。
- バッテリーをショートさせないでください。金属物または導電性物をバッテリー端末に接触させないでください。
- 改造したり、再製造したり、異物をバッテリーに挿入しないでください。水、その他の液体に浸したり晒したりしないでください。火類、爆発物その他の危険物に晒さないでください。
- 駐車場、ラジエータ付近、他の熱源といった極めて高温の場所やその近くに装置を置いたり保管しないでください。バッテリーを電子オープンまたはドライヤに入れしないでください。
- お子様がバッテリーを使用する際には十分に監視してください。
- 地域の規則を遵守して、使用済みの再充電可能なバッテリーは速やかに処分してください。
- 火気のある場所でバッテリーを処分しないでください。
- バッテリーを飲み込んだ場合は、ただちに病院に行ってください。
- バッテリーが漏れたら、その液体が皮膚または目に触れないようにしてください。接触してしまったら、その部分を充分な水で洗い、病院に行ってください。
- 装置またはバッテリーの損傷が疑われる場合、モトローラ・エンタープライズ・モビリティ・サポートまで連絡してください。点検について調整します。

クリーニング



注意

アイプロテクターは常にかけてください。

お使いになる前に圧縮空気とアルコール製品に関する警告ラベルをお読みください。

医学上の理由で他の方法を使用する場合、詳細についてはモトローラに連絡してください。



警告!

高温の油やその他の可燃性の液体に製品を触れさせないでください。万一そのような液体に触れた場合は、製品を電源から抜き、このガイドラインに従って直ちに製品をクリーニングしてください。

必要な 器具

- アルコール・ティッシュ
- レンズ・ティッシュ
- 綿棒
- イソプロピル・アルコール
- チューブが付いた圧縮空気の缶

FR6000 シリーズをクリーニングする

筐体

アルコール・ティッシュを使用して、キーおよび間にあるキーを含む筐体をクリーニングしてください。

ディスプレイ

ディスプレイはアルコール・ティッシュでクリーニングできますが、ディスプレイの端の周囲に液体がたまらないように注意を払ってください。柔らかくて非研磨の布でただちに水気を拭き取り、縞を防いでください。

スキャナウインドウ

スキャナウインドウはレンズ・ティッシュまたは眼鏡などの光学器具のクリーニングに最適な別の素材で定期的に拭いてください。

コネクタ

1. メイン・バッテリーをモバイル・コンピュータから取り外します。[22 ページのメイン・バッテリーを取り替える](#) を参照してください。
2. バッテリー・ドアを閉じます。
3. 綿棒の綿の部分を実イソプロピル・アルコールに浸します。
4. 綿棒の綿部分を FR6000 の下部にあるコネクタ全体にあてて前後にこすります。綿のかすをコネクタに残さないでください。
5. 3 回以上繰り返します。

6. アルコールに浸した綿棒を使用してコネクタ・エリア付近のグリースおよび汚れを取り除きます。
7. 乾いた綿棒を使用して、ステップ 4 ~ ステップ 6 まで繰り返します。
8. チューブ/ノズルをコネクタ・エリアに向けて(表面から約 1/2 インチ離して)圧縮空気をスプレーします。



注意: ノズルをご自身や他の人に向けないでください。ノズルまたはチューブが顔から離れていることを確認してください。

9. グリースまたは汚れがないかどうかチェックしてください。必要に応じて繰り返してください。

クレードル・コネクタをクリーニングする

クレードルのコネクタをクリーニングするには、以下を実行してください。

1. DC 電源ケーブルをクレードルから取り外します。
2. 綿棒の綿の部分をイソプロピル・アルコールに浸します。
3. 綿棒の綿の部分をコネクタのピンに沿ってこすります。綿棒をコネクタの片側から他方にかけて前後にゆっくりと移動します。綿のかすをコネクタに残さないでください。
4. コネクタ全体も綿棒でこすってください。
5. チューブ/ノズルをコネクタ・エリアに向けて(表面から約 1/2 インチ離して)圧縮空気をスプレーします。



注意: ノズルをご自身や他の人に向けないでください。ノズルまたはチューブが顔から離れていることを確認してください。

6. 綿棒の綿くずが残らないようにしてください。綿くずがあれば除去してください。
7. グリースその他の汚れがクレードルの他のエリアにあれば、柔らかい布とアルコールを使用して除去してください。
8. 10 分~30 分(周囲温度および湿度により異なる)かけてアルコールを空気乾燥させてから、クレードルに電源を入れてください。

温度が低く湿度が高い場合は、長時間乾燥させることが必要です。温度が暖かく乾燥している場合は、長時間乾燥させる必要はありません。

クリーニング頻度

クリーニングする頻度については、モバイルが使用される様々な環境に応じてお客様が判断してください。必要な回数クリーニングしてください。ただし、汚れがひどい環境で使用する場合は、スキャナウィンドウを定期的にクリーニングしてスキャニングのパフォーマンスを最適にすることをお勧めします。

FR6000 のトラブルシューティング

表 6-1 FR6000 のトラブルシューティング

問題	考えられる要因	解決策
FR6000 の電源が入りません。	バッテリーが充電されていません。	FR6000 のバッテリーを充電するか交換してください。
	バッテリーが正しく取り付けられていません。	バッテリーを正しく取り付けてください。16 ページの メイン・バッテリーを取り付ける を参照してください。
	システムクラッシュです。	コールド・ブートを実行してください。36 ページの FR6000 シリーズをリセットする を参照してください。
バッテリーが充電されていませんでした。	バッテリーが故障しています。	バッテリーを交換してください。FR6000 が動作しない場合、コールド・ブートを実行してください。36 ページの FR6000 シリーズをリセットする を参照してください。
	バッテリーの充電時に FR6000 がクレードルから外れていました。	FR6000 をクレードルに挿入してください。3600 mAh バッテリーは約 6 時間でフル充電されます。
	バッテリーが極温状態です。	周囲温度が 0°C 以下または 45°C 以上の場合、バッテリーは充電されません。
ディスプレイに文字が表示されません。	FR6000 に電源が入っていません。	リセット・ボタンを押してください。
データの通信時にデータが送信されませんでした。あるいは、データが不完全でした。	FR6000 がクレードルから外れているか、通信時にホスト・コンピュータから接続解除されている。	クレードルの FR6000 を交換してください。あるいは、通信ケーブルを再接続してもう 1 度転送してください。
	ケーブルの設定が間違っています。	システム管理者に連絡してください。
	通信ソフトウェアが不適切にインストールされているか、設定されています。	セットアップを実行してください。
音が出ません。	ボリューム設定が低い、オフになっています。	ボリュームを調節してください。32 ページの ボリュームを調節する を参照してください。

表 6-1 FR6000 のトラブルシューティング(続き)

問題	原因	解決策
FR6000 がシャットオフします。	FR6000 が使用されていません。	FR6000 は一定期間使用されないとオフに切り替わります。FR6000 をバッテリー電源で稼動する場合、この時間を 1 分間隔で 1 分～5 分に設定してください。FR6000 を外部電源で稼動する場合、この時間を 1、2、5、10、15 または 30 分間に設定してください。 スタート > 設定 > システム・タブの順に選択し、電源・アイコンをタップして電源ウィンドウをチェックしてください。詳細タブを選択し、自動シャットオフ機能が有効になる前に、設定をより長い遅延に設定してください。
	バッテリーが消耗しています。	バッテリーを交換してください。
	バッテリーが正しく挿入されていません。	バッテリーを正しく挿入してください。16 ページのメイン・バッテリーを取り付けるを参照してください。
	バッテリーが過度の状態です。	バッテリーの温度は >40°C または <-10°C です。
ウインドウボタンまたはアイコンをタップしても、当該機能が有効になりません。	画面が正しく調整されていません。	画面を再調整してください。19 ページの画面を調整するを参照してください。
FR6000 のメモリが一杯になったというメッセージが表示されます。	FR6000 に保存されているファイルが多過ぎます。	使用しないメモおよびデータを削除してください。必要に応じて、使用しないデータは端末に残さないでください。(あるいは、SD カードでメモリを増設してください)。
	FR6000 にインストールされているアプリケーションが多過ぎます。	FR6000 にユーザがインストールしたアプリケーションを削除して、メモリを回復してください。スタート > 設定 > システム・タブを選択して、プログラムの削除アイコンをタップしてください。未使用のプログラムを選択して、削除をタップしてください。
FR6000 がメモリのコンテンツを保護するためにパワーを低下したままです。	FR6000 のバッテリーが低状態です。	バッテリーを再充電してください。
	内部のブルートゥース機能が長時間オンになっています。	このモードにはバッテリー電源が必要なので、必要でない場合は、オフにしてください。

表 6-1 FR6000 のトラブルシューティング(続き)

問題	原因	解決策
FR6000 のスキャナ機能が正しくありません。	スキャニング・アプリケーションがロードされていません。	FR6000 にスキャニング・アプリケーションをロードしてください。システム管理者に連絡してください。
	バーコードが読み取れません。	バーコードが損傷していないかどうかを確認してください。
	レーザー照射口とバーコードの距離が正しくありません。	正しいスキャニング範囲内に FR6000 を設置してください。
	FR6000 はバーコード用にプログラミングされていません。	スキャンされるバーコードのタイプに対応するよう、FR6000 をプログラミングしてください。
	FR6000 はビープ音を生成するようプログラミングされていません。	読取が良好な状態で、FR6000 がビープ音を発生しない場合、ビープ音が発生されるようアプリケーションを設定してください。
	バッテリーが低状態です。	トリガを押したときに、スキャナがレーザービームが停止したら、バッテリーのレベルをチェックしてください。バッテリーが低状態の場合、FR6000 でバッテリーの低状態が通知される前にスキャナはシャットオフされます。 注: スキャナが依然としてバーコードを読み取っていない場合、代理店またはモトローラまでご連絡ください。

Bluetoothの接続

表 6-2 Bluetooth接続のトラブルシューティング

問題	原因	解決策
FR6000 が近くのBluetoothデバイスを検出しません。	Bluetoothデバイスから遠過ぎます。	別のBluetoothデバイスに近づけてください(10メートルの範囲内)。
	近くのBluetoothデバイスがオンになっていません。	Bluetoothデバイスをオンにしてください。
	Bluetoothデバイスが検出可能なモードではありません。	Bluetoothデバイスを検出可能なモードに設定してください。必要に応じて、デバイスのユーザマニュアルのヘルプを参照してください。

シングル・スロット USB/シリアル・クレードル

表 6-3 シングル・スロット USB/シリアル・クレードルのトラブルシューティング

症状	考えられる原因	処置
FR6000 または スペア・バッテリーを 挿入しても、 LED は点灯し ません。	クレードルが電源を 受信していません。	電源ケーブルがクレードルおよび AC 電源にしっかりと接続されていることを確認してください。
	FR6000 がクレードル にしっかりと固定されてい ません。	FR6000 を取り外し、クレードルに再度挿入して、しっかりと固定させてください。
	スペア・バッテリーがクレ ードルにしっかりと固定され ていません。	スペア・バッテリーを取り外し、充電スロットに再度挿入して、しっかりと固定させてください。
FR6000 のバッ テリーが充電されま せん。	FR6000 がクレードル から外されています。ま たはクレードルが電源 から外されるのが早過 ぎます。	クレードルが電源を受信していることを確認してください。FR6000 が正しく設置されていることを確認してください。スタート > 設定 > システム > 電源の順に操作してメイン・バッテリーが充電されていることを確認してください。3600 mAh バッテリーは約 6 時間でフル充電されます。
	バッテリーが故障しています。	別のバッテリーが正しく充電されていることを確認してください。その場合、故障したバッテリーを交換してください。
	FR6000 がクレードル にしっかりと固定され ていません。	FR6000 を取り外し、クレードルに再度挿入して、しっかりと固定させてください。
	クレードルの周囲温 度が暖か過ぎます。	周囲温度が 0°C ~ 35°C の間であるエリアにクレードルを移動してください。
	バッテリーが極温状 態です。	周囲温度が 0°C 以下または 45°C 以上の場合、バッテリーは充電されません。
スペア・バッテリーが 充電されません。	バッテリーが充電スロ ットに完全に設置され ていません。	スペア・バッテリーを取り外し、クレードルに再度挿入して、しっかりと固定させてください。
	バッテリーが正しく挿入 されていません。	バッテリーの充電面がクレードルの接触面に合うように、バッテリーを再挿入してください。
	バッテリーが故障してい ます。	別のバッテリーが正しく充電されていることを確認してください。その場合、故障したバッテリーを交換してください。
	クレードルの周囲温 度が暖か過ぎます。	周囲温度が 0°C ~ 35°C の間であるエリアにクレードルを移動してください。

表 6-3 シングル・スロット USB/シリアル・クレードルのトラブルシューティング(続き)

症状	考えられる原因	処置
データの通信時にデータが送信されませんでした。あるいは、データが不完全でした。	通信時に FR6000 がクレードルから外れていました。	クレードルの FR6000 を交換して再送信してください。
	ケーブルの設定が間違っています。	システム管理者に連絡してください。
	通信ソフトウェアがインストールされていないか、正しく設定されていません。	セットアップを実行してください。

4 スロット・バッテリー充電器

表 6-4 4 スロット・バッテリー充電器のトラブルシューティング

症状	考えられる原因	処置
バッテリーが充電されません。	バッテリーが充電器から外されているか、充電器を AC 電源から外すのが早過ぎます。	充電器にバッテリーを再挿入するか、充電器の電源を再接続してください。3600 mAh バッテリーは約 6 時間でフル充電されます。
	バッテリーが故障しています。	別のバッテリーが正しく充電されていることを確認してください。その場合、故障したバッテリーを交換してください。
	バッテリーの接触面が充電器に接続されていません。	バッテリーが接触面を裏向けにして充電器に正しく設置されていることを確認してください。
	クレードルの周囲温度が暖か過ぎます。	周囲温度が 0°C ~ 35°C の間にあるエリアにクレードルを移動してください。

ケーブル

表 6-5 ケーブルのトラブルシューティング

症状	考えられる原因	処置
FR6000 のバッテリーが充電されません。	FR6000 を AC 電源から外すのが早過ぎます。	電源ケーブルを正しく接続してください。スタート > 設定 > システム > 電源の順に操作してメイン・バッテリーが充電されていることを確認してください。3600 mAh バッテリーは約 6 時間でフル充電されます。
	バッテリーが故障しています。	別のバッテリーが正しく充電されていることを確認してください。その場合、故障したバッテリーを交換してください。
	FR6000 が電源に完全に接続されていません。	電源ケーブルを FR6000 から外してから再度取り付けて、しっかり固定させてください。
データの通信時にデータが送信されませんでした。あるいは、データが不完全でした。	通信時にケーブルが FR6000 から外されています。	ケーブルを再度取り付けてから再送信してください。
	ケーブルの設定が間違っています。	システム管理者に連絡してください。
	通信ソフトウェアがインストールされていないか、正しく設定されていません。	セットアップを実行してください。

別表 A 技術仕様

FR6000 シリーズの技術仕様

下表には FR6000 の所定の稼働環境および技術面でのハードウェア仕様が要約されています。

表 A-1 FR6000 シリーズの技術仕様

項目	説明
物理的特性	
サイズ	長さ: 188 mm 幅: 72 mm 奥行き: 45.3 mm
重量	標準 1.5X バッテリーを含めて 345 グラム
ディスプレイ	バックライト付き 2.8" QVGA、FT-LCD、240x320(QVGA)
タッチパネル	ガラス・アナログ抵抗膜方式タッチ
バックライト	LED バックライト
メイン・バッテリー	充電式リチウムイオン 3.7V、3600 mAh スマート・バッテリー
バックアップ・バッテリー	リチウム・バッテリー 25mA 3.0V
拡張スロット	ユーザアクセス可能な microSD スロット(セキュアなカバー付き)。 コンパクトフラッシュ(FR6000 シリーズ専用)
ネットワーク接続	高速クライアント USB
通知方式	バイブレーションおよび LED
キーボード・オプション	34 キー
音声	スピーカ、レシーバ、マイクロフォン、ヘッドセットジャック、全二重記録と再生(ステレオ)用ソフトウェア・サポート
性能特性	
CPU:	Marvel PXA312 624 MHz
オペレーティングシステム	Microsoft® Windows Mobile™ 6.1
メモリ	128MB RAM/256MB フラッシュ
インターフェース/通信	USB 2.0、IrDA
出力電源	USB: 5 VDC @ 500 mAh

表 A-1 FR6000 シリーズの技術仕様(続き)

項目	説明
ユーザ環境	
稼働温度	-10°C ~ 40°C
保管温度	-30°C ~ 60°C – バッテリがない場合
充電温度	0°C ~ 45°C
湿度:	90% (結露なし)
落下仕様	1.2m の高さから26回落下、MIL STD 810Gで試験
静電気(ESD)	±15kV 大気放電、±8kV 直接放電
シーリング	IP54
ワイヤレス WAN データと音声通信	
ワイヤレス・ワイド・エリア・ネットワーク (WWAN)無線	FR6074 および FR6076:GSM:3G HSDPA (850、900、1800、1900、2100 MHz)
ワイヤレス LAN データ	
ワイヤレス・ローカル・エリア・ネットワーク (WLAN)無線	デュアルモード IEEE® 802.11b/g
サポートされるデータレート	1、2、5.5、6、9、11、12、24、36、48、54 Mbps
作動チャンネル:	チャンネル 1-13 (2412-2472 MHz)チャンネル 14 (2484 MHz)日本のみ 実際の動作周波数は各地域の規制および承認機関により異なります。
セキュリティ	WEP、WPA、WPA2、WEP、TKIP、AES、EAP (EAP-MD5 CHAP、EAP-TLS、PEAP、EAP-SIM)
拡散技術	直接スペクトラム拡散方式(DSSS)と直交周波数分割多重方式(OFDM)
アンテナ	WLAN、Bluetooth、GPS、WWAN 用内部
ワイヤレス PAN データと音声通信	
Bluetooth	クラスII v 2.0 EDR、オンボード・チップ・アンテナ
データ取り込み仕様	
オプション	1D リニア
リニア 1D スキャナ(SE955 仕様)	
光解像度	0.004 インチ。最小エレメント幅
回転	+/- 35 垂直
ピッチ角	+/- 65° 通常
傾き許容度	+/- 50 通常
周辺光	日光:10,000 フィート(107640 ルクス)、カンデラ 室内照明:450 フィート(4844 ルクス)
衝撃	2,000 +/- 5% G
スキャン速度	50 (+/- 6)スキャン/秒(双方向)
スキャン角度	幅:47° (+/- 3 通常)、縮小時:35(+/-3)
レーザーパワー	1.7mW(+0.2mW)スキャンモード、0.5mW(+0.05mW)照準モード

表 A-2 データの取り込みオプション

項目	説明		
読取可能バーコード	Code 39 Codabar Interleaved 2 of 5 supplementals	Code 128 Code 11 EAN-8 UPCA Chinese 2 of 5	Code 93 Discrete 2 of 5 EAN-13 UPCE UPC/EAN Trioptic 39

FR6000 シリーズのアクセサリ仕様 シングル・スロット USB/シリアル・クレードル

表 A-3 シングル・スロット USB/シリアル・クレードルの技術仕様

項目	説明
サイズ	長さ: 145.4 mm 幅: 110.5 mm 高さ: 91.0 mm
重量	196 g
入力電源	12 VDC
消費電力	30 ワット
インターフェース	USB、シリアル
稼動温度	0°C ~ 50°C
保管温度	-40°C ~ 70°C
充電温度	0°C ~ 40°C
湿度:	5% ~ 95% (結露なし)
落下	76.2 cm の高さからビニールタイル張りのコンクリートへ落下 (室温)
静電気(ESD)	+/- 15 kV 大気 +/- 8 kV 接触

4 スロット・バッテリー充電器

表 A-4 4 スロット・バッテリー充電器の技術仕様

項目	説明
サイズ	長さ: 210 mm 幅: 155 mm 高さ: 34.7 mm
重量	386 g
入力電源	12 VDC
消費電力	30 ワット
稼働温度	0°C ~ 50°C
保管温度	-40°C ~ 70°C
充電温度	0°C ~ 40°C
湿度:	5% ~ 95% (結露なし)
落下	76.2 cm の高さからビニールタイル張りのコンクリートへ落下 (室温)
静電気(ESD)	+/- 15 kV 大気 +/- 8 kV 接触

用語集

B

バー: プリントされたバーコード記号の暗いエレメント(線)。

ビット: 2 進数。1 ビットは 2 進情報の基本単位です。通常、8 連続ビットは 1 バイトのデータで構成されます。バイト内の数値 0 と 1 のパターンがその意味を決定します。

1 秒当たりのビット数 (bps): 送信または受信されるビット数。

ブートまたはブートアップ: コンピュータが起動するプロセス。ブートアップ時にコンピュータは自己診断テストを実行し、ハードウェアおよびソフトウェアを設定します。

Bps: 1 秒当たりのビット数を参照してください。

C

キャラクタ: メッセージに含まれる数値、文字、句読点、通信制御といったデータまたは制御機能を直接示すバー、スペースのパターン。

コールド・ブート: コールド・ブートはモバイル・コンピュータを再起動して、ユーザが保存した記録およびエントリをすべて消去します。

COM ポート: 通信ポート。ポートは番号、たとえば、COM1、COM2 により識別されます。

クレードル: クレードルは端末バッテリーの充電およびホスト・コンピュータとの通信に使用します。使用しないときには、端末を保管することができます。

E

ESD: 静電気。

F

フラッシュメモリ

フラッシュメモリは不揮発性の半永続的ストレージで、回路で電氣的に消去および書き換えが可能です。FR6000 のモバイル・コンピュータはフラッシュメモリを使用して、オペレーティングシステムを保存します。

H

Hz: ヘルツ: 周波数の単位 (1 秒間に 1 周期)。

ホスト・コンピュータ: ネットワークの別の端末にサービスを提供するコンピュータです。演算、データベースへのアクセス。プログラムの監視、ネットワーク管理といったサービスを提供します。

I

IEC: 国際電気標準会議。この国際機関は稼働時の出力をベースに様々なレーザーの稼働レベルを指定してレーザーの安全性を規定しています。

IP: インターネット・プロトコル。TCP/IP 通信プロトコルの IP 部分です。IP はプロトコルのネットワーク層 (3 層) を実装します。このプロトコルにはネットワーク・アドレスが含まれており、メッセージを別のネットワークまたはサブネットワークにルーティングします。IP は 4 層のトランスポート・プロトコル (TCP または UDP) から「パケット」を受信し、自身のヘッダーを追加して、2 層のデータリンク・プロトコルにデータグラムを送信します。さらに、パケットを分割することでネットワークの最大転送ユニット (MTU) をサポートします。

IPX/SPX: インターネットパッケージ交換 (IPX) / シーケンシャル・パケット交換 (SPX) Novell 用通信プロトコルです。IPX は XNS、IP と同様、Novell の 3 層のプロトコルで、NetWare ネットワークで使用されます。SPX は Xerox SPP プロトコルの Novell のバージョンです。

K

キー: キーはデータを暗号化し解読するために、アルゴリズムで使用する特定のコードです。暗号化と解読も参照してください。

L

ギヤ密度は高いです。

レーザー・スキャナー: レーザー光線を使用するバーコード・リーダーです。

LED インジケータ: デジタル・ディスプレイのインジケータとしてよく使用される半導体ダイオード (LED - 発光ダイオード)。半導体は印加電圧を使用して、特定の化学成分により決定された一定の周波数の光を発生します。

M

モバイル・コンピュータ:このガイドでは、*モバイル・コンピュータ*は FR6000 を指しています。スタンドアロン・デバイスとして設定可能です。ワイヤレス無線技術を使用して、ネットワークと通信するデバイスとしても設定できます。

R

RAM:ランダム・アクセス・メモリ。RAM のデータはランダムにアクセスできます。素早く読み書きできます。

索引

4 スロット・バッテリー充電器	61, 64, 77	スペア・バッテリーの充電	64
ActiveSync	11, 12, 55	セキュリティ	48
ActiveSync をインストールする	55	ソフトウェアのバージョン	10
AFH	47	タスク	29
GPSXtra	29	タスク・トレイ	28
Internet Explorer モバイル	28	タスク・マネージャ	29, 32
IrDA	44	ディスプレイ	71
LED インジケータ	35	データの取り込み	42
microSD	19	データを入力する	42
Windows Live	29	トラブルシューティング	73
Windows Media Player	29	ノート	29
アクセサリ	14	バーコード	41, 42
インターネットの共有	29	バックアップ・バッテリー	19
ウェークアップ	36	バックライト	31
オペレーティングシステム	10	バックライトの設定を変更する	23
カスタマー・フィードバック	31	バッテリー アダプタ の取り付け	64
カレンダー	28	バッテリーの充電インジケータ	62
キーパッドの説明	39, 40	バッテリーの安全性ガイドライン	70
クリーニング	71	バッテリーの管理	22
クレードル・コネクタ	72	ハンドストラップを調節する	21
クロックとアラーム	31	ファイル・エクスプローラ	29
ケーブル	66, 78	フォンソフトウェア	10
ゲーム	29	ブルー・キー	39
コールド・ブート	36	ブルートゥース	47
コネクタ	71	ブルートゥースの接続	75
シングル・スロット USB/シリアル・クレードル	61	ヘッドセット	66
スキャナウィンドウ	71	ヘルプ	28
スキャン	41	ボタン	41
スタイラス	41	メイン・バッテリーとメモリバックアップ・バッテリーを充電する ..	17
スペア・バッテリー	62		

メイン・バッテリーを交換する	22	英数値キーパッド	38, 39, 40
メイン・バッテリーを取り付ける	16	起動する	29
メッセージング	28	接続	49
メッセージャ	29	通知アイコン	26
メモ리카ード	20	通信/充電ケーブル	66
メンテナンス	69	連絡先	28
モデム	32	無線ステータス	35
モバイル・コンピュータの設定	55	無線をオフにする	23
リチウムイオン・バッテリー	14	筐体	71
リニア・スキャニング	42	開梱する	14
ロックする	37	解読	42
ワイヤレス・マネージャ	23	電源	41
仕様	11	電源の設定を変更する	22
充電ケーブル	66	構成	10
充電温度	18, 63	適応型周波数ホッピング	47
各セクションの説明	11	器具	71
自動充電ケーブル	61	写真とビデオ	29
赤外線接続	44	検索	29
車両クレードル	17	画面のキャリブレーション設定をする	19
周波数	72	画面プロテクタ	21
表記法	11	画面プロテクターを取り外す	21



MOTOROLA

Motorola, Inc.
One Motorola Plaza
Holtsville, New York 11742, USA
1-800-927-9626
<http://www.motorola.com>

MOTOROLA、Stylized M ロゴ、Symbol および Symbol ロゴは、米国特許商標局に登録されています。
その他すべての製品名とサービス名は、該当する各所有者が権利を有しています。
© Motorola, Inc. 2009

72E-119052-01 RevisionB– July 2009